

vol.7 2026

大学発スタートアップマガジン

とっきんとっきん

雑誌 10 Tongali
年間の軌跡



未来を拓く、10年の歩み

2015年度、東海地区の国立5大学が手を携え、「とんがった人を育てたい」という志のもとに始まった Tongali プロジェクト。

学部生・大学院生、そして研究者がアイデアを形にし、社会を動かす力を身につける——。

私たちは、そんな場を生み出すことから、第一歩を踏み出しました。

あれから10年。Tongaliは今や、29大学・機関が参加する“大家族”へと成長しました。

文部科学省「EDGE-NEXT」やJST「START」など、国の支援も受けながら、学生へのアントレプレナーシップ教育にとどまらず、研究者の起業支援、起業環境の整備、スタートアップ・エコシステムの形成・共創へと、着実にその活動領域を広げてきました。

地域の大学と共に築いてきたネットワークは、東海エリアを越え全国へ、さらに海外との連携へと広がり、長期的かつ継続的な取り組みへと発展しています。

多様な個性が出会い、交わり、新たな価値を生み出す「場」として——Tongaliはこれからも進化を続けます。

そして次の未来を拓く起点として、一人ひとりの「やってみよう」という想いに寄り添い、育み、社会へとつなげていきます。

Tongaliの歩んだ10年間

11月

東海地区5大学(名古屋大学・豊橋技術科学大学・名古屋工業大学・三重大学・岐阜大学)アントレプレナーシップ教育実施に向けて密談開始。

7月

文部科学省EDGE-NEXTに採択。
5大学がヨチヨチ歩き。
事後評価において最高評価Sを獲得

世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画：
グローバル拠点都市認定
社会還元加速プログラム(SCORE) 大学推進型
拠点都市環境整備型 採択
事後評価にて最高評価Sを獲得

2015 — 2016 — 2017 — 2018 — 2019 — 2020

名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャーファンド始動

3月

Tongaliのコンセプトを発表。
産声を上げる！

7月

第1回 Tongali シンポジウムを開催。
まずは一歩。

6月

名城大学

10月

中京大学

6月

藤田医科大学

8月

名古屋市立大学

10月

岐阜薬科大学

TOKKIN TOKKIN vol. 7

Tongali とは	03	浜松医科大学 / 豊田工業大学	18
10周年特集「10年の挑戦から次の未来へ」	05	静岡理工科大学 / 金城学院大学	19
MEMBERS	09	中部大学 / 名古屋外国語大学	20
名古屋大学 / 豊橋技術科学大学	10	静岡県立大学 / 名古屋国際工科専門職大学	21
名古屋工業大学 / 岐阜大学	11	名古屋商科大学 / 日本福祉大学	22
三重大学 / 名城大学	12	自然科学研究機構 / STATION Ai	23
中京大学 / 藤田医科大学	13	ENTREPRENEUR INTERVIEWS	24
名古屋市立大学 / 岐阜薬科大学	14	SUPPORTERS	27
愛知県立芸術大学 / 愛知県立大学	15	SUPPORTER INTERVIEWS	29
椋山女学園大学 / 南山大学	16	KNOCK-KNOCK STARTUPS	31
光産業創成大学院大学 / 静岡大学	17	BACK ISSUES	40

大学発新産業創出プログラム (START)

-大学・エコシステム推進型スタートアップ・
エコシステム形成支援-採択

4月

愛知県立芸術大学

4月

浜松医科大学

1月

金城学院大学
静岡理工科大学
中部大学

大学発新産業創出基金事業

スタートアップ・エコシステム共創プログラム 採択

2021

6月

椋山女学園大学

9月

愛知県立大学

11月

南山大学

2022

5月

光産業創成大学院大学
静岡大学

6月

豊田工業大学

2023

5月

名古屋外国語大学
静岡県立大学

10月

自然科学研究機構
STATION Ai

12月

名古屋経済大学

2024

3月

名古屋国際工科専門職大学

8月

名古屋商科大学

2025

2月

日本福祉大学



Tongali とは？

東海地区の大学が取り組むアントレプレナーシップ教育と起業支援活動のためのプラットフォームの総称で、学部生・大学院生・教職員を対象に、次世代の起業家を育成・支援する多面的なプログラムを提供しています。Tongaliの活動としては、学生の教育（Tongali E）だけでなく、研究者の起業支援（Tongali X）、起業環境整備、エコシステム拠点都市の運営があります。現在、27大学 + 2機関が参画しています。

Vision

アイデアとテクノロジーが交わる学校

Mission

未来に繋がる価値を創り、届けることができるトンガった人材を育成する。そして、技術を発掘、支援することにより、東海から世界に向けて、地球・社会や人類の生活を（モノ、心を）豊かにする。

Tongali e

Tongali Eでは、2年間をかけて、アントレプレナーシップの育成に必要な様々なステージに応じた教育プログラムを実施しています。学生はだれでも参加が可能です。2024年度は、アントレプレナーシップ教育プログラムに9,000人以上が参加しています。

アントレプレナーシップ教育の実績

	1st 2016年度	5th 2020年度	7th 2022年度	8th 2023年度	9th 2024年度
Tongali 全体でのアントレ教育に係る提供科目数 (全数 (単位化講義))	17 (13)	45 (25)	84 (39)	104 (44)	114 (47)
Tongali 全体でのアントレプレナーシップ教育 (のべ)	635	4,398	5,842	8,220	9,126
アイデアピッチコンテスト (チーム)	13	40	59	92	184
ビジネスプランコンテスト (チーム)	13	39	47	65	94
起業 (社)	5	2	4	4	7



数字で見る Tongali



27 + 2
universities institutions

Tongaliに参画する機関数
(2025年3月現在)



9,126
students

Tongaliのアントレプレ
ナーシッププログラムのべ
受講者数(2024年度)



423⁺
ventures

Tongaliに参画する25
大学発ベンチャー累積起
業数(2025年3月現在)



¥160.6
billion

Tongaliに参画する25大学
発スタートアップの累積資金
調達額(2025年3月現在)

Tongali X

Tongali Xでは、人材育成と起業支援の連動を強化し、多くのベンチャー企業の創出と発展に寄与していくことを目指

しています。とりわけ、大学・研究機関に蓄積された、ポテンシャルの高い研究シーズの社会実装を強力に推し進めるディープテック・スタートアップの起業に向けた支援プログラムを実施しています。

研究者の起業を後押しする Tongali GAP ファンドプログラム

Support



伴走支援

Brush Up



仮説検証プログラム

Incubation



研究開発資金



メンタリング



投資家マッチング



起業準備セミナー



バックオフィス支援



経営者候補
マッチング

Promotion



プロモーション
ツール



Demo Day

基礎研究

事業化準備

起業・事業拡大

GAP ファンドプログラムの実績

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
エントリー (チーム)	45	44	60	87
採択 (チーム)	21	18	30	34
起業 (社)	9	4	4	プログラム実施中



10年の挑戦から次の未来へ

アントレプレナーシップ教育の可能性



Tongali発足時からプログラム運営に携わる5大学のリーダーに、これまでのアントレプレナーシップ教育による社会的インパクトやエコシステムの変化、今後目指す未来の展望を語っていただきました。

——この10年間を振り返ってみて大変だったことや、大きく変化したことは何ですか？

矢野：始めた当時は参加してくれる学生がほとんどいなくて、いつもコーディネーターの方にお声がけしていたんですよ。最初に10～20名ほど集まってきて、まずは学生同士の繋がりをつくることからスタートしました。名工大の学生って、ほとんどがトヨタ自動車やデンソーなど、地元の企業に就職するんです。だから一般的に見たら選択肢が少ないんですけど、それが当たり前になっていて。それがこれまで続けてきたことで、「自分で新しいビジネスを立ち上げることも選択肢として増えて、身近になってきた感覚はありますね。最近になってようやく、事業を立ち上げるだけでなく、資金調達まで進む会社もいくつか出てきています。

上原：岐阜大も最初は参加者が全く集まりませんでした（笑）立ち上げ当初は名大・名工大の学生さんが多かったこともあり、ハードルが高く感じていたみたいで…。いきなりTongaliに参加するのではなく、学内にワンクッション置こうということで、起業したい学生同士のコミュニティを作ったりするところからの始まりでしたね。それから、一度参加してくれる学生さんが少し現れ始めて、でも、一人や二人“頑張りたい！”という学生がいる段階の時は、長くは続かなかったんですよ。地道な活動を始めて2年後あたりから、ようやく安定的に参加してくれる学生が増えるようになりました。

河野：本当にどこも、同じような感じですね。うちも生協に行っては、学生にチラシ配りしていましたよ（笑）僕が一番こだわってきた

こととしては、スタートアップや起業をゴールとしないアントレプレナーシップ教育のカタチや成果の出し方を模索してきたということがあります。やっぱりどうしても、「この取り組みの結果、起業は何社増えましたか？」という会話になりがちなんですよ。でも本質は、そこではない。この点は、他の大学さんも苦労されたんじゃないでしょうか。

八神：おっしゃるとおりです。うちの場合は都心から1時間と物理的な距離もあるので、そもそも学生がベンチャー企業の方々と触れ合う機会が少ないですし、興味も薄いというところから始まりましたね。ただ、三重という地域柄もあって、地域おこしには興味のある学生が多かったです。だから、“地域を盛り上げる”という文脈でのプロジェクトに関わらせ、少しずつ予算を渡して、取り組んで

もらうようにしました。この関わり方が功を奏して、徐々にTongaliに関心を示す学生も増えてきて、3~4年前に、起業部も誕生しましたよ。

土谷：地道に活動を続けていたら、理解してくれる人が少しずつ増えてきた感じですね。政策も追い風になって、「アントレプレナーシップ」「スタートアップ」という言葉が浸透しつつあることも、変化に大きく影響を与えてくれている気がします。

――どの大学も、興味を持ってもらえないところからの始まりだったんですね。Tongaliが活発になるにつれて、起業部に所属する学生など、質の面での変化はありましたか？

上原：そこまで変わっていないですね。起業部の設立当時から毎年30人前後と、大きく増えても減っていません。部活が立ち上がった当初から、「広報を積極的にしない」ということを学生と決めていたんです。やっぱり起業するからには、情熱だったり野心だったり、気持ちがないと続かないと思うんですよね。だから、「カッコいいから起業する！」みたいな、起業を目的にした学生はいないですね。実際に所属している学生の中には、起業というよりは社会課題を解決するための活動や団体を立ち上げている学生もいますよ。例えば自身が車椅子ユーザーで、「出かけた時に車椅子でも利用できるお手洗いのマップを作りたい」と、原体験から気づいた社会課題を解決するために活動しています。

土谷：うちのスタートアップサークルは変わりましたね。昔は地域の活動団体とコラボして終了！という形になりがちだったところから、「実証実験までやりたい」という声を学生たちがあげてくれるようになってきました。学生たちも「何かやりたい！」という気持ちでサークルに参加してくれているので、こちらとしてもその想いに応えたいですし、行動に起こせることは何だろうと、日々試行錯誤してきましたよ。

矢野：学生一人ひとりが変わったというよりは、組織として良い文化が醸成されてきたなと感じますね。かつて「NaSH(=名工大の起業サークル)をどう盛り上げていこう？」と企画して動いてくれていた学生たちが、今

となっては大企業で新規事業の立ち上げをしていたり、スタートアップで活躍していたりして。卒業してもサークルに顔を出して、後輩たちの面倒を見てくれているんですよ。起業したい学生の相談にのるなど、メンターのような動きもしてくれていて、好循環が生まれつつあります。

実は昔、「起業します！」と学生が言うと、先生たちから苦情が来たんですよ(笑)先生からすると、大学院に進学する予定だった生徒が別の道にそれてしまった、ということ。でもこの10年で、そんなことを言う先生もいなくなりましたね。むしろ、「もっと名工大発のスタートアップを増やしていかなきゃね！」というスタンスの方が増えたので、大学自体も変化してきているなと感じますね。

――他地域とは異なる、Tongaliの特色や強みとは何でしょうか？

上原：運営者側の視点としては、組織としてまとまりがあるのに、自由度が高いところが面白いと思いますね。

八神：確かにそうですね！補助金など制度がきっかけで立ち上がったプログラムではない、ということも大きいかもしれないですね。Tongaliの最初って、産学連携の集まりから派生したじゃないですか。各大学のセンター長が集まったときに、アントレプレナーシップ教育を、産学連携の部門でやりましょうという話がきっかけになって。

河野：その始まりが土台にあるから、どこの大学も、主体性を持って取り組んでいるのが最大の強みかもしれません。我々5大学でやっていたときから、変わらず月1で集まって議論する場も持っていますし。結果として、Tongaliという枠組みを活かしながら、各大学らしさも織り交ぜて成長してきていると思います。

――Tongaliに参加してくれた学生たちからは、どんな声をもらうことが多いですか？

上原：「仲間がいて嬉しい！」という話はやっ

ぱり一番多く聞きますね。Tongaliを通して学外での繋がりが広がるので、大学の枠にとられない交流や、相談相手ができるということが大きいみたいです。“一人じゃない”って心強いですし、起業して推進していく上でも強い原動力になりますよね。

河野：それこそ、Tongaliを通して出会った学生同士で起業するケースもありますよね。初期の頃は特に、名大生と名工大生で組んでの起業があったと思います。

矢野：うちのNaSHでは、他の大学さんの起業部と定期的な交流会も生まれていて、その中でお互いにアイデアのブラッシュアップをしていたりもしますよ。本当に、大学の枠にとられない交流が広がっていますよね。

土谷：“実際にビジネスをやりたい！”と発言してくれる学生も増えましたよ。やっぱり座学だけでなく、やってみるからこそ気付きがたくさんありますよね。実はうちの学内に養蜂場があって、蜂蜜を作っているんですよ。ビジネスの視点で見ると、蜂蜜って競合がたくさんいますし、特徴も出しにくいので、難易度が高いんです。でも、この課題に向き合うことで、気付きや視点の幅が広がります。例えば蜂の巣の箱って、何十年も昔から木の箱なんです。日本の伝統技術なので、素晴らしいことではあるんですけど、地球温暖化が進んでいるから、中にいる蜂が死んでしまう問題も出てきていて。こうした現実を知ったとき、「この箱を、技術で何とかできないか？」と、課題発見ができるんですよ。今は養蜂





場さん向けの蜂の巣箱を取り扱う事業を立ち上げていて、来年には販売できそうな段階までできています。

八神：とても素敵なお取り組みですね！実際に現場を見たから課題にも気付けますし、その課題を解決するための技術なのだと思えますよ。

——社会や地域という視点でもお伺いさせていただきます。社会的インパクトの観点から、Tongaliはどんな影響を与えてきたと思われていますか？

上原：東海地方というところかというと、製造業が盛んな地域だからこそ、“起業不毛の地”なんて言われてきましたよね。アントレプレナーシップ教育を広めていくことは、起業する可能性の裾野を広げていくことに確実に貢献していると思います。まさに、“トンガリ”の山を高く、大きくする活動だと思っています。

八神：起業する学生が増えただけでなく、「スタートアップに就職しよう」という学生も増えましたよね。スタートアップやベンチャーが学生にとって身近な存在になりつつあることも、大きな変化だと感じます。

土谷：学生を受け入れる側の企業の姿勢も変わってきましたよね。昔は言葉を選ばずに言うと、“自分たちで育てるから、大学の教育には期待していない”というような印象の企業もありました。それが今では、企業からの期待値が高まっているように感じます。大学が社会に出て通用する人材育成をする時代になってきている証拠なのかなと。

——エコシステムが立ち上がり、文化が醸成された10年間でしたね。次の10年に向けては、どうお考えですか？

河野：アントレプレナーシップ教育に関して言うと、「座学と実践を組み合わせる方が伸びる」

というデータがエビデンスとしても出ているんですよ。だから、デザイン思考やリーンローンチパッドなど、基礎となる部分は大切にしながら、大学ごとの特色を加えて柔軟に変化させていけると理想ですね。

実際に自分がこれまで見てきた中でも、最初は単位を取得する目的で授業を受けていた学生が、話を聞く中で感化されて、どんどん行動するようになったケースもあって。あとから話を聞くと、“実はあの授業がきっかけだった”という声ももったりするんです。そんなきっかけを作り続けていけたら良いですよ。

土谷：僕はもともと、“座学って必要なのかな”と思っていた部分があるんです。聞いたところで、大体は忘れちゃうのでよって（笑）ところが実際にやってみて気づいたこととして、普段技術に重きを置いている大学ほど、座学って有効だなと感じました。

“まずは作ってみよう”という文化なので、手が早い反面、同じ失敗を繰り返してしまいがちだったんです。そこに座学が加わることで、「こんな視点で見ると景色が違う」という気付きが出てくる。座学と実践の良い循環が生まれるんです。座学も必要だし、実践も必要。どちらかに偏ることなく、バランスよく育むことが大切だと僕は思います。

矢野：今は学部生が対象ですけど、例えば中高生など、次世代との関わりやコラボレーションを生み出していくこともありかもしれないですよ。

——最近はGAPファンドプログラムも活発ですよ。学部生のみならず、修士・博士課程の教育についてはいかがですか？

上原：一般的には最初の資金調達って数百万レベルのことが多いのですが、研究がベースになっている事業の場合、どうしても多額の資金が必要になってくる場合があります。立ち上げ段階

で大きなハードルになる資金の課題がクリアになるというのは、とても良い取り組みですよ。

土谷：そうですね！博士課程までいくとそのまま教員になれる方も多いですが、僕個人としては、起業してから教員になるルートが増えると良いと思います。経験していないことは、解像度の高いアドバイスができません。最終的に教育者を目指している人だとしても、“まず、やってみる”という実践の経験や思考を持った人だと、教育現場もより良くなると思います。

河野：最近は海外に行くようなプログラムも増えてきましたが、博士・修士課程の方々にベストなプログラムは提供できていると思います。もちろん、海外の方たちとのネットワークを持ち、視野を広げることも大切ですけど、日本にいながら学べる、実践できることはたくさんある。地に足をつけて取り組むことも、同じくらい大切だと思ってもらえたら嬉しいです。

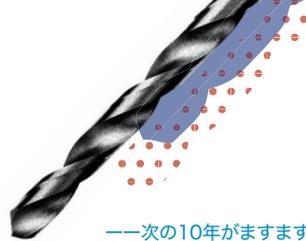
——始まりは5大学だったところから、今は27大学と2機関と、拡散フェーズに入ってきましたね。これまでのような質の高い環境を守っていくために、意識されていることはありますか？

河野：「お互いないところを補いながら連携する」ということは大切にしたいですね。学生の特徴が全く違うので、変にルールで縛るのではなく、強みを伸ばしていくことができると良いのではないかと思います。

土谷：芸術系の大学であれば想像力と課題発見力が強みですし、反対に僕らは技術やテクノロジーが強みですもんね。経済系など文系の大学はマーケティング視点を持ち合わせていたりするので、視点を増やすという意味でも、他大学とのコラボレーションがもっと増えていくと面白い気がしますね。

矢野：「ビジコンも地区予選をやったら？」という話が出たことがありますけど、それこそ小さいコミュニティごとの単位で仕掛けていっても良いですよ。





—一次の10年がますます楽しみですね！最後に、Tongaliが目指す今後の展望を聞かせてください。



河野：この10年間でTongaliは、単なる「起業支援プログラム」ではなく“挑戦する文化”を育むエコシステムへと発展してきました。東海地域の大学を横断する参画大学は30に迫り、当初の5大学から想像できないほど大きなコミュニティへと成長しています。これからの10年は、各大学がそれぞれの強みを活かしながら、多様な学びと実践の場を広げていく必要性を感じています。

今では、年間1万人がアントレプレナーシップ教育を受講できる環境が整いつつあります。これからは内発的動機から行動へとつなげる「座学と実践の両輪」を意識したプログラム設計が一層重要になるでしょう。デザイン思考やリーンローンチパッドなど理論的な基盤を学ぶことで、学生は自らの想いやアイデアを言語化し、他者と共有できるようになります。そこからプロジェクトに発展させ、行動し、挑戦することで、より深い学びと成長が生まれる。大学や自治体、産業界がその挑戦を支援し、成長した学生が次の世代を支える——そんな循環が生まれる環境を目指したいと考えています。

また研究成果の社会実装に向けた最初の一步として、GAPファンドプログラムなど、実践的な支援の仕組みも浸透してきました。アントレプレナーシップ教育の観点では、GAPファンドをはじめとする研究発の起業支援において、技術シーズだけでなく、社会や産業界からの課題・需要（デマンド）を起点にスタートアップを生み出す仕組みを、いかに戦略的に構築していくかは重要です。課題から発想し、研究と結びつけて価値を創出するモデルを確立することで、より実効性の高いイノベーションを育てることに繋がってほしいです。

今後は、中高生など次世代との連携や、芸術系・文系・理系といった分野を越えた協働にも挑戦していきたいと考えていますし、起業という出口だけにとらわれず、社会の多様な領域にポジティブな影響を与える活動が広がることで、Tongaliの理念はより豊かに、より深く社会へ根づいてほしいですね！

Q：あなたにとって、アントレプレナーシップとは？

上原氏
新たな価値を生み出す力

八神氏
チャレンジ&リフレクションの積み重ね！

河野氏
起業が目的ではなく、未来の当たり前をつくること

矢野氏
与えられた未来でなく、自分の未来は自分でつくること

土谷氏
挑戦し続ける人生を歩むこと

Tongali
を探せ

10周年にちなんで記事の中にトシガっているものが10個隠れています！探してみよう！

答えはページの下へ

PROFILE



名古屋大学
学術研究・産学官連携推進本部
イノベーション・アントレプレ
ナーシップ推進室 教授

河野 廉氏

産学官連携コーディネーターや博士学生のキャリアパス支援等を経て、2015年にアントレプレナーシップ教育Tongaliを創立。東海地域の大学でのアントレプレナーシップ教育、大学発ベンチャーの起業支援の底上げを行っている。医学博士。



豊橋技術科学大学
スタートアップ推進室 室長

土谷 徹氏

19年間勤務した富士フィルムで危機的な状況と第二創業を経験できたことが今の仕事に活かしている。2年間愛知教育大学で理科教材の開発を経験し、その後、研究所の設置を機に母校に戻り、現在はスタートアップ活動の教育・支援を行っている。



名古屋工業大学
産学官金連携機構
機構長・教授

矢野 卓真氏

2008年、名古屋工業大学にて博士（工学）を取得。三井化学株式会社を経て、2013年に名古屋工業大学の産学官金連携機構に着任し、産学官連携やアントレプレナーシップ教育に従事。また2020年から産学連携学会で理事や監事も務めている。



岐阜大学
高等研究院 教授
起業部 顧問

上原 雅行氏

2007年、大阪大学にて博士（医学）を取得。ポスドク、大手電機メーカー、信州大学PI、団体創設等を経て、岐阜大学。教育・研究に加え、産学官連携促進・起業家育成・スタートアップ創出等、大学運営業務に携わる。岐阜大学公認 起業部 顧問。



三重大学
教育推進・学生支援機構 地域創
造教育センター アントレプレ
ナーシップ教育グループ 准教授

八神 寿徳氏

博士後期課程修了後、㈱三重TLO、新エネルギー・産業技術総合開発機構を経て、三重大学にて産学官連携、知財・技術移転、起業支援活動に従事。実務経験を活かして知財教育、アントレ教育、リカレント教育などの教育活動に取り組んでいる。情報科学博士。

10周年記念ロゴ

手の算盤1ートと口の算盤01 / へーと算盤の頭7d'6

/1705'8 / 146462'2 / 従の算盤の頭7d'9 / 従の算盤の頭79d'9 / 素機'7 / 算盤の算盤1714と6'8 / 口0110gali'2 / (2い2.4算盤算盤01) 1714と6'1

Tongali に参画する東海地区の各大学では、
それぞれに特色あるアントレプレナーシップ教育、
起業支援が行われている。
その現場で、いま何が始まっているのか。
各大学の取り組み、その最前線を聞いた。

アントレプレナーシップ教育、起業支援の最前線。

MEMBERS

- 10 名古屋大学 / 豊橋技術科学大学
- 11 名古屋工業大学 / 岐阜大学
- 12 三重大学 / 名城大学
- 13 中京大学 / 藤田医科大学
- 14 名古屋市立大学 / 岐阜薬科大学
- 15 愛知県立芸術大学 / 愛知県立大学
- 16 福山女学園大学 / 南山大学
- 17 光産業創成大学院大学 / 静岡大学
- 18 浜松理工科大学 / 豊田工業大学
- 19 静岡理科大学 / 金城学院大学
- 20 中部大学 / 名古屋外国語大学
- 21 静岡県立大学 / 名古屋国際工科専門職大学
- 22 名古屋商科大学 / 日本福祉大学

- 23 自然科学研究機構・StationAi
- 24 アントレプレナーインタビュー
01- 株式会社花酵母 factory
- 25 02- 株式会社 Acompany
- 26 03- 株式会社 SAZO



アイデア×テクノロジーで 未来にチャレンジする学校

 名古屋大学



Tongaliの主幹大学である名古屋大学は、Tongaliの共通プログラムとして、年度当初に「Tongaliシンポジウム」を開催し、“アントレプレナーシップ”の理解促進を図る。また、「Tongaliスクール」や「海外研修」により、新たなことに挑戦するために必要な視座やスキルを習得する。

もに、アイデアやビジネスプランをブラッシュアップする機会を提供するなど、年間を通じてアントレプレナーシップ教育プログラムを提供している。

更に、ビジネスプランコンテスト（6月）やアイデアピッチコンテスト（11月）を開催し、多くの学生にチャレンジする場を提供している。これらのコンテストの上位入賞チームには、活動支援金を贈呈すると

加えて、2025年度には、名古屋大学として、名古屋市や三菱みらい育成財団と連携し、中高生等を対象としたアントレプレナーシップ教育の拡大に取り組んでいる。

Tongaliは、これからも試行錯誤を繰り返しながら、歩み続けていきたい。



- A.Tongali 2025 キックオフシンポジウム
- B.Tongali シンポジウム—8人のイノベーターとのディスカッション—
- C.Tongali ビジネスプランコンテスト2025決勝（ファイナル）の様子
- D.三菱みらい育成財団との連携事業
- E.名古屋市との連携事業



 国立大学法人
豊橋技術科学大学

超実践的ビジネス体験からの学び

本学は、昨年8月1日に「スタートアップ推進室」を設置以降、アントレプレナーシップ教育とスタートアップ活動を一本化し、より実践的な取り組みを行うための環境整備に力を入れ、徐々に様々なテーマが走り始めている。

の温暖化や生態系などの環境変化に対応を迫られている。そんな中、科学技術の導入を積極的に進め、知財創出による差別化や効率的なビジネスの検討など、多くの学びに繋がっている。来年度からは、本格的に経営的な観点で活動を進める予定である。

本年より、実践的なビジネス体験の一例として「養蜂（はちみつ）」を始めた。養蜂は、差別化が難しく競争も多い。ビジネスとしては難しい分野である反面、そこからの学びは非常に多いと考えている。養蜂は伝統・職人・経験が重要な要素となっているが、近年

また、意識の高い学生の獲得を目指し、高専生の育成にもより一層力を入れている。技科大に入学し、「深い学び」や「持続的な事業創出」を目指す学生が徐々に増えている。



- A. ビジネス体験：養蜂で採取したはちみつ / B. ビジネス体験：自動運転開発体験（豊橋技術科学大学オープンキャンパス）
- C. 高専生アントレプレナーシップ教育イベント / D. ビジネス体験：経営戦略体験ボードゲーム
- E. ビジネス体験：ネイルサービス（豊橋技術科学大学オープンキャンパス）





「ものづくり精神」を備え持った 挑戦者の一步を後押しする！



NAGOYA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



B



C

長年にわたり地域産業と向き合ってきた名古屋工業大学には「ものづくり精神」を受け継ぐ人材が多く存在している。そうした地域から、未来を見据え、社会変革をリードするアントレプレナーを育てることを目的に、学部学生や専門性を持つ大学院生、若手研究者などを対象とした育成・支援プログラムを展開している。また、学生有志が立ち上げた起業部「NaSH」が中心となり、学生と産業界が自由に交流できる「産学連携ワーキングスペース」を拠点に、さまざまなイベントを企画・運営し、活発な活動が行われている。

＜活動の一例＞

- ・アントレプレナー育成塾：学内外の起業家を招き、トークイベントを開催。（これまで40名以上が登壇）ざっくばらんな対談形式で行い、学生だけでなく、地元企業や行政も参加している。
- ・“Second UP!” 3日間にわたるアイデアソン：新しいアイデアを生み出し、ピッチができるレベルまでブラッシュアップするプログラム。他大学からの参加も多く、濃密なコミュニティを形成している。



D

- A. 2025起業部_NaSH
- B. Tongali ビジネスプランコンテスト2025 優秀賞等（みやげる）
- C. Tongali 起業部対抗戦 優勝
- D. 2025 アントレプレナー育成塾

野心よ集え



将来予測が困難な時代を迎える中、既存の枠を超え自ら行動を起こし新たな価値を生み出していくアントレプレナーシップを醸成していかなければならない。

岐阜大学では、こうした認識に基づき、2020年に、中部地方で初となる大学公認の「起業部」が発足、また新たに起業関連授業を開講するなど、活動を活発化させている。これまで岐阜は、決して起業の盛んな地域ではなかった。しかし、起業部がハブとなりイノベーションを創出する動きが現れ、その動きが徐々に他の学生や地域社会にも広がりつつある。このムーブメントをさらに拡大し、新たな未来を切り拓く。

東海国立
大学機構

岐阜大学

**全国最大級のビジネスコンテストの大臣賞をはじめ
数々の主要コンテストで最優秀賞を獲得！**

SHUNYA CHOSOKABE	ITSUKI NATSUME	RYOTA SUGIMOTO	SHION ITO	AIKO KITAGAWA	AI SATO
 長曾我部 竣也さん ● FiberCraze株式会社 代表取締役社長 ●岐阜大学 工学部 工学研究科 物質・ものづくり工学専攻 (2023年3月卒業)	 夏目 一輝さん ●株式会社 artkake 代表取締役社長 ●岐阜大学 工学部 工学研究科 地域政策専攻 修士2年 (2025年4月開始)	 杉本 穂太さん ●Umaji Japan株式会社 代表取締役社長 ●岐阜大学 工学部 工学研究科 生産環境科学専攻 4年 (2025年4月開始)	 伊藤 思音さん ●合同会社たべものや 代表取締役社長 ●岐阜大学 工学部 工学研究科 生産環境科学専攻 4年 (2025年4月開始)	 北川 愛子さん ●GIVELOVE株式会社 代表取締役社長 ●岐阜大学 工学部 工学研究科 生産環境科学専攻 4年 (2025年4月開始)	 佐藤 愛さん ●株式会社ユニークアグリ 代表取締役社長 ●岐阜大学 工学部 工学研究科 生産環境科学専攻 4年 (2025年4月開始)
R3年 FiberCraze株式会社 起業	R4年 株式会社artkake 起業	R5年 Umaji Japan株式会社 起業	R6年 合同会社たべものや 起業	R7年 GIVELOVE株式会社 起業	R6年 株式会社ユニークアグリ 起業
R5年 Forbes JAPAN 30 UNDER 30 選出	R4年 Tongali ビジネスプラン コンテスト 最優秀賞	R5年 Tongali ビジネスプラン コンテスト 優秀賞 (ほか)	R5年 ビジネス創造コンテスト 最優秀賞(全国1位)・ グローバルビジネス賞	R7年 Tongali ビジネスプラン コンテスト 企業賞	 岐阜大学 起業部
R3年 キャンパス ベンチャーグランプリ 全国大会 文部科学大臣賞	R4年 ぎふビジネスアイデア・ プレゼンテーション 最優秀賞グランプリ	R4年 アグリフードハッカソン 最優秀賞	R5年 大学SDGsACTION! AWARDS 準グランプリ(全国2位)	R7年 Tongali ビジネスプラン コンテスト 企業賞	R8年 Tongali アイデアピッチ コンテスト Tongali賞 3位
R2年 キャンパス ベンチャーグランプリ 中部大会 大賞(1位)	R3年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞	R4年 Tongali アイデアピッチ コンテスト 名鉄賞・ あずさ監査法人賞	R4年 SDGs探求AWARDS 最優秀賞(全国1位)	R6年 Tongali アイデアピッチ コンテスト Tongali賞 3位	※主な受賞のみ

A

- A. 活躍する起業人材！
- B. 中部地方初！大学公認の起業部メンバーと地域の生徒さん
- C. 岐大起業部公式マスコット「東海ニャントレプレナー」



C



B

GIFU UNIVERSITY



学部1年生全員への アントレプレナーシップ 教育を開始!



三重大学では、令和7年度から、全学部の1年生に対し共通教育の必修科目「キャリア教育入門」(全15回)の中で、「アントレプレナーシップ基礎(3回)」の講義を新設し、全ての新生へのアントレプレナーシップ教育を開始した。「おにぎりせんべい」としても名の知れた株式会社マスヤの親会社であるIXホールディングス株式会社 濱田吉司社長が令和6年度から三重大学地域創造教育センターの教授として着任し、同科目のアントレプレナーシップ基礎を担当している。地元三重県の著名な経営者が直接教える授業

として、受講生からも「失敗を恐れず自ら挑戦し行動を起こすことの重要性がわかった」、「将来のキャリアを考えるにあたって影響を受けた」などの感想が寄せられている。三重大学の共通教育では、必修の同科目以外にも、新たに10科目のアントレプレナーシップ関連科目(選択授業)を開講することで進めている。それら10科目は地域創造教育センターの教員が授業担当者となり、多数の企業経営者、起業家、起業支援機関・金融機関・自治体などの学外の有識者や専門家と連携して授業を行う予定である。

A. 共通教育「キャリア教育入門」におけるアントレプレナーシップ基礎の授業の様子
B. 共通教育「キャリア教育入門」において授業を行う濱田吉司教授

ありたい未来を自分で創る will、 それを叶える手段・仲間との出会い

名城大学

名城大学は、「プログラム」「コミュニティ」「場」を軸に、正課教育・正課外でアントレプレナーシップを持った次世代人材育成に取り組んでいる。

2019年には、起業に関心のある学生や起業を目指す学生が集うコミュニティ「MEIJO STARTUP CLUB(通称:MSC)」を立ち上げ、現在まで学生中心で活動している。MSCのメンバーをはじめ多くの学生が、ビジネスコンテストやプログラム等に挑戦し、起業に必要なマインドやスキルの習得を目指している。

また、名城大学には、学生のクリエイティブな活動

を支援する施設が整備されている。起業活動拠点ものづくりスペースM-STUDIO(天白C)は、ものづくりを通じて実践的な学びを提供し、多様なプロジェクトを行うための場である。この拠点に幅広い分野の人々が集い、アイデアをカタチにすることで交流や活動が生まれることを目指している。社会連携ゾーンshake(ナゴヤドーム前C)は、オープンなパブリックスペースであり、多様な人々が年齢や職業に関係なくフラットに交流することで、集・学・創が共有できる学びの場を目指している。



A. MSC 活動の様子 / B. 起業活動拠点ものづくりスペースM-STUDIO (fab 機器) / C. 社会連携ゾーン shake
D. 起業活動拠点ものづくりスペースM-STUDIO (交流スペース) / E. 学内で実施しているアントレプログラム



MEIJO UNIVERSITY

MEIJO UNIVERSITY

社会連携教育センターを開設！

アントレプレナーシップ 教育を推進



2025年4月に中京大学では社会連携教育センターが開設した。企業や自治体等と連携し、学生に社会連携教育の機会やアントレプレナーシップのプログラムを提供している。今年度は、学生起業家を講師として招いて開催する社会課題解決ワークショップを昨年度に引き続き実施するほか、社内起業家として活躍する卒業生を招いた講演会を新たに実施する予定である。

また、企業や自治体等からの課題提供を受け、学内公募で集まった学生たちがチームとなって取り組むプロジェクトを新たに実施している。学生たちが

が企画や発表のみならず、自分たちで考えたアイデアを実行に移すことが重要であると考えている。

実行まで取り組むことで、学生たちはさまざまな困難に直面し、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく過程でアントレプレナーシップを育むことになると思う。

本学では、起業のみを推奨するのではなく、社会課題を発見し解決に向けて行動する力や、新しい価値を創造する力、主体性や行動力、問題解決能力などを養うことを重要視している。

A.グループワークの様子（ワークショップ）/ B.グループ発表の様子（ワークショップ）

「その時」いちばん動ける人材を 幅広い世代を通して育成



藤田医科大学では「その時」いちばん動ける藤田へのVisionの下、社会課題に立ち向かい、解決に取り組む人材を育成している。本年度からアントレプレナーシップ教育についてはキャリア教育センターが主体となった。医療科学部1年生では「キャリア形成論」、大学院では「アントレプレナーシップ概論」を用意し、起業家の育成だけでなく、社会課題に対して各自が主体性を持つための考え方を育むことを目指している。

学外向けには、SDGs推進室が主催となった中学生向けイベント「君の手で未来の医療を創ろう！」

を7月に開催。将来の医療を支える次世代の育成を目的に、アントレプレナーシップ教育と医療研究の体験を組み合わせたプログラムで、愛知県内外からの参加があった。次年度以降も開催予定であり、幅広い世代に向けて展開していく。

一方で、本学研究者の研究シーズの社会実装に向けてはスタートアップ推進室を軸に、外部研究資金の獲得支援や起業支援等を行っている。

今後もこれらの活動を発展させ、医療分野でのスタートアップ創出をめざしていく。



A. 3部発表
B. 3部グループワーク
C. 2部講演





アントレ教育と起業伴走の両輪で 「やってみたい」を全力支援



名市大では、アントレ教育と起業に向けた伴走支援の両輪で、教職員・学生の「やってみたい」を全力で支援している。

アントレ教育では、マインド醸成から、アイデア創出、仮説検証、事業計画策定、資金調達まで体系的に学べる仕組みを構築している。実践で活かせる知識とスキルを段階的に身につけることができる。

今年度は、地元企業と連携したPBL（課題解決型学習）を実施する。学生チームが企業のリアルな課題を調査・分析し、解決策を検討、さらに社会実装まで

企業と共に推進するプログラムである。やり切る力と形にする力を育成する実践的な取り組みである。

一方で、起業を志す教職員・学生の多様な挑戦をサポートするため、URA、起業伴走支援者、学内教員ネットワーク、学外専門機関と連携した支援体制を構築している。伴走支援者を増員し、個別相談対応を充実させ、それぞれの特性・フェーズに応じたきめ細かなサポートを実現している。

名市大は今後も、挑戦したい想いに全力で応えるため、挑戦者が活躍できる環境づくりを継続する。



A. アイデアブラッシュアップセミナーの様子
B. 名市大OB エクスコムグローバル㈱ 西村社長 講演会の様子
C. アントレプレナー教育ワークショップの様子

社会課題を解決できる薬剤師を 社会に送り出せる大学へ！



GIFU PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

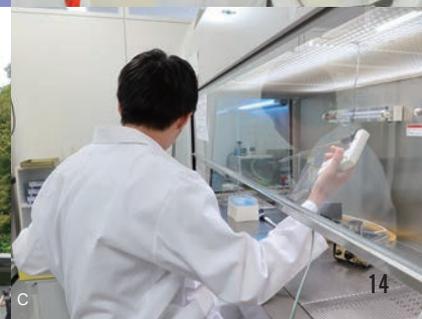
岐阜薬科大学は「教育」「研究」「社会貢献」を大学の3つの柱として長きにわたり創業に関わる研究と医療に貢献できる高度な人材を輩出することで地域に貢献している大学である。

本学は、薬剤師免許の取得に加え、その先にある社会課題の解決に薬剤師の視点で取り組める Pharmacist-Scientists の育成を目指し、岐阜薬科大学、岐阜大学が所在する岐阜市黒野地域におけるライフサイエンス拠点の形成に取り組んでいる。また、岐阜市と連携してアントレプレナーシップ教育を実施するとともに、Tongali プロジェクトにも参画、アン

トレプレナーシップマインドを持った起業家の育成に努めている。

創業を中心としたアントレプレナーシップ教育プログラムでは起業家が持つ経営者としての視点、熱い想いで困難を解決していく力を学ぶ機会を学生に与えると共に同教育プログラムを Tongali 関連大学等にも広く公開。2025年度法人化により、大学発ベンチャーが5者立ち上がった。学内教員からの起業を促すシーズ探索と起業に向けた助言、学内規程の整備等を積極的に行っている。また、学生発ベンチャーの設立に向けた支援も行っている。

A. 中高生アントレプレナーシップイベントの開催 / B. 社会課題への挑戦（ドローンによる医薬品供給実証実験） / C. 研究開発マインドを持った若い人材の育成 / D. 薬局での実習 / E. 講演に聞き入る学生たち（アントレプレナーシップ講演会にて）



NAGOYA CITY UNIVERSITY

アートと アントレプレナーシップ

愛知県立芸術大学

AICHI UNIVERSITY OF THE ARTS



アート・デザイン思考

社会では、アート・デザイン思考を活用した講座やワークショップが盛んに行われている。既存のプロセスに基づき、多くの教育現場や企業がイノベーションを目指しているが、芸術大学で実践されているアート・デザイン思考の教育が中心となることは稀である。

その理由は、芸術大学における創造性教育の根幹が、自己との対話を通じて内発的動機から社会へと関わっていく点にある。一方、社会課題や地域連携といった外部要因からアプローチする一般的なプログラムは、その方向性が正反対だからである。

アントレプレナーシップ教育への独自の取り組み

「自己理解は創造の第一歩である。」という考え方は、最先端の起業家教育と一致している。愛知県立芸術

大学は、その考えと共通するバブソン大学の山川恭弘准教授を迎え、起業アイデアを立案するアントレプレナーシップ教育を行なっている。また、自己理解を深め固定観念を超えるための8つのアイディエーションメソッドを開発して内発的動機を軸とした創造性教育を実践している。

アートとアントレプレナーシップを活用した人材育成自己理解に根ざしたアートとアントレプレナーシップに共通する創造性を培うメソッドを形式化し、誰もが活用できる教材として開発している。本学のデザイン教育にとどまらず、他大学や中学・高校生向けのアントレプレナーシップ教育へも展開を広げている。今後はキャリア教育や探究科目にも活用範囲を拡大し、起業家マインドを備えた創造的人材を育成する新たな方法論を開拓していく。

A.8つのアイディエーションメソッド教材 / B.高校生向けのアントレプレナーシップ教育の様子 / C.森の中に佇む愛知県立芸術大学

演劇を用いたプログラムで チームビルディングとプレゼンカ向上



スタートアップについて考えるとき、まずチームビルディングが必要となる。そしてプレゼン力、表現力が重要となる。これらの能力は生まれつきの才能によるところが大きく難しいと思われることも多い。特に理工系人材はそのように考え苦手意識を持つ学生が多いように感じられる。ここで発想を転換し、才能ではなく方法としてチームビルディング能力や表現力を身につけられたら、と考える。そこで有用なのが演劇のトレーニング手法である。演劇では、今日初めて会った相手と夫婦を

演じたり、逆に、憎しみ合い敵対する間柄を実際には親しい友人と演じ、日常では考えられない行動、表情をする。そこには方法論が存在し、それを知り経験することで自分の表情、しぐさ、発声などを客観的に捉えることで表現力を磨き、チームビルディングに活かすことができる。こうした考えからアメリカで活躍するミュージカル俳優をお招きし、表現力、チームビルディングに関するワークショップを実施した。学生たちからは新しい経験と気づきがあったと高い評価が得られた。

A.ワークショップの様子



社会課題解決型ビジネスコンテストを 核として女性起業家を育成

 相山女学園大学



本学では、2021年度よりTongaliプロジェクトに参画し、高校生・大学生対象のビジネスプラン・コンテストを核としたアントレプレナーシップ人材育成プログラムの活動を行っている。

コンテストでは、社会課題解決型のビジネスプランを作成、報告を経験する機会をつくり、特に、女性起業家の育成に力を入れている。前提となる社会課題の設定や解決策の検証などは、教員や専門家による講演・メンタリングの機会を複数回設定し、学びの範囲を超えて学部横断型のチームアップも可能と

なっていることが大きな特徴である。

コンテストへの応募を契機に新たな視点、視野、視座で社会を捉え、それらに挑戦する機運を高めるとともに、女性ならではのしなやかな問題解決力を向上させ、自立した女性が社会で活躍する可能性を拡げていくことを目指している。また、東海北陸地域5県の高校生も当コンテストに多く応募しており、今後も東海地域の起業家のすそ野を広げることに貢献していく。

- A. 「Women Business Entrepreneurs」において起業家による特別講義
- B. ビジネスプラン・コンテストのプレゼンテーション
- C. ビジネスプラン・コンテスト参加高校生
- D. 本大会における教員とのメンタリング



社会にインパクトを与える 挑戦者を育てる

**NANZAN
UNIVERSITY**

南山大学は、「人間の尊厳のために」を教育モットーとして、グローバルな視点を持ってより良い社会の実現に貢献できる人材育成を目指している。アントレプレナーシップは、自らが一步を踏み出して社会を変えていく力の大切な源であると考えており、2021年からTongaliプロジェクトに参画し、所属学部を問わず、アントレプレナーシップ教育の機会を提供している。

プログラムは、スタートアップや事業開発にかかわるゲストスピーカーを招いた講演会、アイデア出しから

実現に至るプロセスを学ぶワークショップ、社会実装を見据えた英語でのピッチコンテストで構成されている。南山大学がこれまで培ってきた豊かな国際性を活かして、海外協定校とのネットワークを活用した国際的セッションや日本語を集中的に学ぶ受入れ留学生と日本人学生との共同講座など、よりグローバルなテーマやチーム編成でアントレプレナーシップを学ぶことができるプログラムを提供する。2023年に新たに立ち上がった学生による起業部とも連携した取り組みを行う。

- A.Nanzan English Pitch Arena / B.Nanzan English Pitch Arena / C. アイデア創出ワークショップ
- D. 先輩学生起業家による講演





すぐ試作で検証！ 「P-Labo」機器 初心者セミナー

光産業創成大学院大学は、光技術を用いて新産業を創成する人材の育成を目的とした、起業実践コースと新規事業開発コースを有する博士課程のみの大学院大学である。起業を志す方や所属企業から派遣された社会人が集い、会社の経営者も複数在籍している。2005年開学以降130名以上が在籍し、2025年には同窓生企業がIPOするなど、大きな成果が出始めている。

Tongali で進められてきた FabLab において、Photonics Laboratory (P-Labo) と称して光技術を用いた試作支援室を本学では設置している。これまでの実践教育から、ビ

ジネスの仮説・検証を素早く進めるための試作の重要性を鑑みた取り組みである。レーザー加工機、3Dプリンター、3Dモデリングマシンを整備し、運用している。IPOレベルに至った同窓生たちも、本学で試作を繰り返していた。

2025年度も継続して、初心者向けに、実機を利用しながらの少人数セミナーを実施し、スタートアップのみなさんの試作がスムーズにスタートできるよう支援する。



A. P-Labo (Photonics Laboratory)QRコード / B. 3つの機器

達成感が、次の挑戦へのモチベーションとなる 「MOVE ON 2025」



「大学や学部を越えた仲間と出会えてよかった」「学校では学べない新しい知識が得られた」。最終発表会を終えた学生たちは高揚感にあふれ、達成感に満ちていた。

今年の起業家人材育成プログラム「MOVE ON」は史上最高50名のエントリー。静岡県内の5大学から起業を目指す学生が集まり、約1か月半にわたるプログラムに挑戦した。

初日はアイデア出しの練習として、キーワードを組み合わせて着想した事業をグループで検討。「納豆×電気」などユニークなものもあり、議論していく中

で交流を深めた。続く1泊2日の合宿のメインとなる、チーム作りでは、一緒に取り組みたいアイデアに投票し、13チームが結成された。ブラッシュアップしていく過程では、途中ピボットするチームもあったが、学生がほぼ全員離脱することなく最後まで走りきれた。

このプログラムを受ける前と後では、起業へのモチベーションはもちろん、学生たちの顔つきも自信に満ちたものへと変わったと感じた。この学生たちが次の新しい挑戦へどんな飛躍を見せてくれるのか、大いに期待したい。

A. 起業家人材育成プログラム「MOVE ON 2025」 / B. ドキドキのチーム決め / C. 合宿での先輩起業家との対話会 / D. 初対面の参加者同士によるアイデア出し





光量子医学研究のジャンプアップ！ そしてスタートアップへ



浜松医科大学は開学50周年を記念し、2024年4月に「光医学総合研究所」を設立した。分子から個体レベルまでの最先端イメージング技術を駆使し、生命現象の解明や精神疾患などの新たな診断・治療法の開発を目指している。同研究所内の光トランスレーショナルリサーチ推進部門には、スタートアップ支援・URA室が設置され、起業家志向の研究者・医療従事者・学生の育成と支援を推進している。起業家教育プログラムの開発や資金確保、人材・VC連携を通じ、地域と連携した医療系スタートアップのエコシステム形成を目指している。

アントレプレナーシップ教育では、学生たちが学

内外の多様なスタートアッププログラムに挑戦し、その経験や学びを学内で共有できる環境づくりを進めている。

また、今年度始まった医療×AIワークショップでは、最新の生成AI技術を体験的に学び、実務家による講義と併せて、実践的な発想力と課題解決力の育成につなげている。

2022年にスタートしたアイデアピッチイベント「浜医やらまいかピッチ」では、こうした取り組みの成果が発表され、医療系大学ならではの視点から社会課題解決に挑む学生たちの成長が感じられる場となっている。

- A. 「浜松医科大学スタートアップセミナー」スタートアップ設立に関する講演の様子
- B. 医療×AIワークショップの様子（全8回）
- C. 学外プログラム参加報告会
- D. 浜医やらまいかピッチ



時流に先んじて工学で社会変革を起こす イノベーション人材の育成



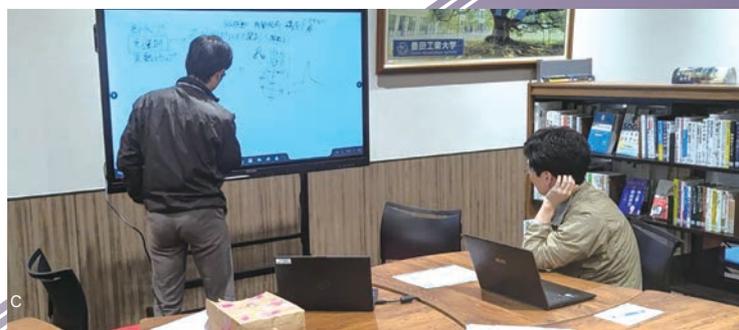
本学は豊田佐吉翁の遺訓「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」を建学の理念として掲げ、開学以来、先端的な工学研究を通じた新たな価値創造と社会への還元、実践的な技術者・研究者の育成に取り組んできた。

2022年度からTongaliへ加入し、今までにSTATION Aiが提供する起業家育成プログラム「STAPS」への学生参加、GAPファンドへの申請トライや相談会の実施、オープンラボでの新事業・新産業創出に繋げるヒントを得るための特別講演会開催や

学生の学外活動報告などを行ってきた。また、学内のTongaliコーナーでは起業マインドや新事業への挑戦意識を高めるための書籍を配架しており、実際に起業家育成プログラム「STAPS」への参加学生も参考図書として活用している。2025年度には必修科目のシラバスにアントレプレナーシップの醸成を加え、課外でも勉強会の開催を計画している。

本学は今後も社会変革を起こすイノベーション人材の育成と環境整備を進めていき、次世代の国際産業リーダー創出を目指す予定である。

A. 豊田佐吉翁が発明した豊田式木製人力織機の復元機 / B. 2024年度本学オープンラボでの特別招待講演会の様子。世界の最先端であり続ける企業の新事業創出などに関する取り組みを学ぶため、日本IBM株式会社による講演会を実施（2024年12月） / C. スタートアップ創出相談会の様子（2025年3月）



高校生の 柔軟で豊かな発想を 活かして



静岡理科大学では、2013年より全国の高校生を対象としたアイデアピッチコンテストである、「高校生「ものづくり・ことづくりプランコンテスト」を実施している。「こんなものを作ってみたい」、「こんなことをやってみたい」、「アイデアを『カタチ』にして売りたい」など、高校生が考えるオリジナリティに溢れ、ユニークなアイデアを募集している。

昨年度は、全国各地の高校など56校から、365件のアイデアの応募があった。

応募書類の中から特に優秀な5件のアイデアが

最終審査会へと進出し、審査員へプレゼンし、最優秀賞を目指す。

また、最終審査会では、審査員として参加いただいている地域企業の経営者から高校生に対して、「会社ってどんなところ?」、「起業って何するの?」など、スタートアップの入り口となるような講演を行っている。

最終審査終了後も自分たちのアイデアが実現されるように、継続して取り組む学校もあり、本コンテストの受賞アイデアが社会実装される日が来ることを期待している。

A. 最終審査会におけるプレゼンテーション
B. 審査員からの質問を受ける発表者

学生の提案がカタチに！ 新しい価値創造の挑戦



金城学院大学は「強く、優しく。」を教育スローガンに掲げ、他者への関心や社会課題への主体的な関わりを重視し、行動力ある人材の育成を目指している。今年度も金城学院中学校・高等学校と連携し、生徒・学生が協働するプロジェクトを実施した。

意見の多様性を生かすことで、ユニークなアイデアが多数生まれ、リーダーシップやコミュニケーション力、デザイン力、実行力が育まれた。具体的には、水族館やデザイナーと協働してミュージアムグッズを提案するプロジェクトや、学院オリジナルグッズを企画するプロジェクトがあり、社会やターゲット

の理解を深めながらアイデアをカタチにする経験を積んだ。

昨年度生まれたアイデアの一部が実際に販売までつながる成果もあり、学生の提案力と実行力が具体的な形として社会に評価された。今後も多様な人々と協働し、新しい価値創造と人材育成を進めていく。



A. 金城グッズ・プロジェクトでのグループワーク
B. ミュージアムグッズ・プロジェクトでのグループワーク
C. ミュージアムグッズ・プロジェクトでの発表の様子



“あてになる人間”を社会へ！ 中部大学の産学官連携と スタートアップ支援



中部大学の建学の精神は「不言実行、あてになる人間」であり、学生が真に「あてになる人間」として飛び立ち、社会と自分自身の未来を拓ける人材の育成に努めている。本学では、研究成果を学内にとどめることなく社会へ広く展開するため、大学の技術やアイデア（シーズ）と企業のニーズをつなぐ「産学連携コーディネーター」を配置している。また、毎年数百名が来場する「中部大学フェア」を開催しており、昨年はTongali賞を受賞した学生の協力のもと、Tongali専用ブースを設置して活動の魅力を発信した。

本学は2023年9月に、地元の春日井市、春日井商工会議所の3者によるスタートアップの推進に関する連携協定を締結した。昨年は、地元の春日井

市で開催された「かすがいビジプレ2024」に学生が参加し最優秀賞に輝いた他、三重県の金融機関が主催するビジネスプランコンテストに学生が参加し学生コースの最優秀賞を獲得した。

2025年からAI・データサイエンスに関する社会人向け講座「CU Synergy Program - AI基礎と応用」が厚生労働省専門教育訓練給付金の支給を受けられるようになるとともに、2025年に開催された春日井市のスタートアップ交流会に中部大学発ベンチャーが参加し新事業展開や課題解決などについて地元のスタートアップ企業と交流した。

Tongaliの参加大学と連携しこれらの活動を一層、拡大、充実させ、東海地域の産学官連携の興隆、更に経済発展に貢献したい。

A. 中部大学フェア特別講演 / B. 中部大学フェア出展ブース

世界へ羽ばたく ビジネスの翼を広げよう！



NAGOYA UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

本学は「人間教育」と「実学」を建学の精神として、世界の多元性、多文化性に深い理解力をもち、同時に批判的思考、共感性に優れた「世界人材 (World Human Resources)」の育成を目指している。

以前より「起業論」などの授業を通して、アントレプレナー育成に取り組んでおり、Tongaliへ加入したことを機会に、さらに以下の取り組みを強化している。

① 企業連携科目「ビジネス・プランニング」

企業が直面する実際の課題に取り組むことにより、学生たちは大学での学びを実践するとともに起業家精神を養う。

② 「起業・ビジネス研究会」

学生の自主性を重んじつつ、海外ビジネス経験を持つ実務家教員からもアドバイスを受けることで実践的な学びを推進。

③ 「ビジネスアイデア・コンテスト」

起業に関心があるものの、なかなか“はじめの一歩”を踏み出せない学生向けのイベント。これを踏み台として学外のビジネスプランコンテストや実際の起業に向けて活動することが期待される。

今後も継続的にアントレプレナー教育を充実させ、海外ビジネスへはばたく人材を育成していく。

A. 留学生と交流するコミュニケーションプラザ / B. 企業連携科目「ビジネス・プランニング」で起業家精神を養う / C. “はじめの一歩”「ビジネスアイデア・コンテスト」



CHUBU UNIVERSITY

新しいことに チャレンジする力の 育成



本学では、アントレプレナーシップを「新しいことにチャレンジする力」と定義し、学生がより親しみやすく主体的に取り組めるよう、各種講座やプログラムを実施している。

2024年度には、本学の卒業生を中心に、様々な分野で活躍する講師を招き、講師の生き方や考え方、キャリアの歩みを語るセミナーを開催。参加学生が多様な価値観に触れ、視野を広げる内容となっている。さらに、実践的な学びの場として、地元企業と連携し、実際の社会課題に取り組むワークショップを開催した。課題を自ら発見し、他者と協働しながら

解決策を探求するプロセスを通じて、課題解決力や協働力を養うことを目的としている。

2024年度では正課外での実施にとどまったが、2025年度からは授業内での実施を計画しており、将来的にはアントレプレナーシップ教育の必修化も視野に入れている。本学は今後も、学生が「新しいことにチャレンジする力」を育み自ら未来を切り拓くことができるよう、アントレプレナーシップ教育に取り組んでいく。

A. 卒業生起業家を招いての「私の「あ！」が見つかる講座」/ B. 企業と課題解決に取り組むワークショッププログラム / C. インキュベーションセンター「Kendai-Base」

名古屋国際工科専門職大学

起業サークル「NKベンチャーズ」が スタートアップ創出に貢献！

名古屋国際工科専門職大学は、デジタル分野（AI・IoT・ロボット・ゲーム・CG）の専門職大学です。2021年開学の新しい大学で、特に実践教育に注力しています。本学でのアントレプレナーシップ教育は、起業サークル「NKベンチャーズ」が中心となって、明るく、前向きに、精力的に取り組んでいます。定例活動としては、①顧問教授による「起業講座」、②先輩学生による「起業活動報告会」、③外部講師を招いての学内アイデアソン、④学外ビジネスコンテストへの出場などがあります。最近では、学外コンテ

ストで受賞する学生も増えつつあり、「NKベンチャーズ」のメンバーも30名を超える規模にまで成長しています。また、本学発学生ベンチャーの第一号としてデザイン企画会社が事業をスタートしており、海外主要大学のアントレプレナーシップ養成プログラムに参加する学生も出始めています。今後は、起業サークルに加え、正課授業内でのアントレプレナーシップ教育をより一層強化し、東海圏のデジタル分野のスタートアップ創出に貢献していく所存です。

A. 起業サークル「NKベンチャーズ」の「起業講座」/ B. 起業サークル「NKベンチャーズ」の「起業活動報告会」/ C.D. 学内アイデアソン





世界標準の経営教育で 未来を拓く



NAGOYA UNIVERSITY OF COMMERCE & BUSINESS



名古屋商科大学は、「フロンティアスピリットを備えた創造的で倫理観あるリーダーを育成し、ビジネス界や社会の発展をもたらす知識創出に貢献すること」を使命とし、90年間にわたり世界標準の経営教育を追求し、伝統的なリーダー育成手法となる「ケースメソッド」を学部教育に導入している。「ケースメソッド」とは、ケースを使った討論型授業である。具体的には、ケースに登場する主人公の立場になって、自分ならどうするか？を考えて議論することを通じて、問題解決力、コミュニケーション力、リーダーシップを養う。さらには、「フィールドメソッド」を組み合わせることで、教室での学びを現場へとつなぎ、理論と実践を往復する経験を重視している。教員の5割以上が実務家としての経験を有する研究者、実務と研究を通じた実践的な学びを提供している。また、経営教育の世界的権威である「AACSB」から大学で国内初となる国際認証を取得し、「THE 世界大学ラ

ンキング」においても「教育充実度」および「国際性」の分野において全国トップレベルの評価を得ている。名古屋商科大学の学びの特徴は、入学後に「31分野のメジャー」を選択できる点にもある。全ての学部が同一キャンパスに集結している名古屋商科大学ならではの教育制度で、学びの選択肢が広がる。

- A. ビジネスプランニング授業の審査風景
- B. ビジネスプランコンテストの本審査風景
- C. 商学部2年生のフィールド活動と教員とのリモート対話風景
- D. フィールド活動での伝統技能の学習風景
- E. フィールド活動での企業様と協働でのアイデア創出風景



ふつうのくらしのしあわせのための アントレプレナーシップ教育



NIHON FUKUSHI UNIVERSITY

日本福祉大学は、「ふつうのくらしのしあわせ」を追求し続ける大学として、社会福祉学部をはじめ経済学部、工学部など9つの学部からなる総合大学である。

これまで、アントレプレナーシップ教育そのものは十分ではなかったが、1975年に日本初の社会福祉学を学び実践する四年制大学として誕生した本学の基礎には「アントレプレナーマインド」がある。

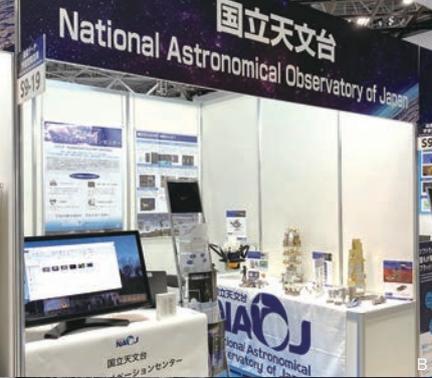
社会全体の仕組みを考え、より豊かな社会をつくるために学び実践するための経済学部が1976年に誕生し2026年に創立50周年を迎える。また、2025年度には健康科学部福祉工学科が工学部として生まれ変わり9学部体制となった。

この70年のあゆみは、社会福祉を軸としたアントレプレナーシップの歴史であったといえる。

現時点では、起業など明確な成果は生まれていないが、経済学部をコアとして9学部が力を合わせて、福祉を中心とする本学らしい「アントレプレナーマインド＝“企業家精神”」を身に着ける事のできる教育を推進し、学部横断型チームによる外部コンテストへの挑戦を第一歩とし、着実に教育とその成果を重ねていく。

- A. 企画提案の様子
- B. ゼミでのディスカッション
- C. 多文化共生と学び
- D. 研究活動への参画





宇宙産業を支援する 拠点を設置

NINS
National Institutes of Natural Sciences

自然科学研究機構（NINS）は、大学等における基礎研究を支援するとともに、先端的な研究を実施することにより、我が国の科学技術の発展を牽引する研究コミュニティの中核としての役割を担ってきた。NINSを構成する研究所では、最先端の研究成果を社会につなぐ取り組みが進められており、近年では産業界との連携や、機構発スタートアップの設立にも注力している。その一例として、2025年に「国立天文台スペースイノベーションセンター構想」が、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の「宇宙戦略基金事業」における「SX研究開発拠点」に採択された。本構想では、スタートアップ企業等が宇宙技術開発に取り組む際、ノウハウと時間を要するシステム検討・設計・試作・試験・評価などの工程を支援する計画である。具体的には、国立天文台先端技術センターの人材・設備・技術力を基盤に、助言や共同研究を実施する

ほか、国立天文台が有する最先端の製造・測定装置等を使っていただくことで、企業等における技術獲得の加速を促す。

A.SX研究開発拠点キックオフミーティングで握手を交わす角南プログラムオフィサーと土居国立天文台長 / B.C.宇宙ビジネス展SPEXA2025でのSIC出展ブース / D.宇宙ビジネス展SPEXA2025のピッチステージ / E.SX研究開発拠点キックオフミーティングでのJAXAとスペースイノベーションセンター（SIC）の記念写真



NATIONAL INSTITUTES OF NATURAL SCIENCES

STATION Aiが 採択チームの事業成長を総合的に支援！

日本最大級のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」を運営するSTATION Ai株式会社は、Tongaliの共同機関としてGAPファンドプログラム（ステップ2）の運営を担当しています。GAPファンドプログラム（ステップ2）は、スタートアップ企業の本格的な組成を目指す研究者チームを対象として支援を実施しています。対象となるのは、Tongali参画の15機関に所属する教職員および博士・修士課程相当の学生です。令和6年度に採択された6チームすべてに対し、将来のCxO候補人材の採用活動をサポートしました。現在、各チームではCxO候補の方とともに、事業面やファイナンス面での取り組みを強

化し、事業のスケールアップを目指しています。さらに採択チーム向けにSTATION Ai株式会社からサポート担当者をアサインし、各チームの課題やニーズを迅速に把握。事業会社との面談機会や土業相談、各種支援メニューの提供に加え、STATION Ai内で日常的に開催されるイベントへの参加機会の提供など、多面的なサポートを行っています。

- A.プログラムキックオフでの1枚。熱意あふれる研究者たちが、社会実装に向けて動き出した。
- B.採択研究チームによる、STATION Aiでのデータ取得イベントの1枚。様々な属性のデータを一気に取得できました



Upcoming
次回予告

Tongali に参画する大学は継続的に拡大している。次号 Vol.8ではさらに今年度連携機関となった1校も登場し、各大学ごとのユニークな取組を紹介する予定である。



静岡社会健康医学大学院大学
Shizuoka Graduate University of Public Health

花から生まれた新しい発酵技術。 日本の米粉パンを世界へ。

ENTREPRENEUR INTERVIEWS

01

花酵母を軸とした発酵食品を中心にさまざまな製品開発を目指す株式会社花酵母factory。現在はパン開発に注力しており、カーネーション由来の野生酵母MC87-46による米粉パンで第2回おいしい米粉パンコンテスト最優秀グランプリ、日本食品科学工学会第72回大会企業賞を受賞するなど注目を集めている。

――事業化までの経緯をお聞かせください。

金子：名城大学農学部在学中に取り組んでいた花酵母プロジェクトが始まりです。当時、花酵母技術は日本酒製造にのみ活用され、パン製造には不向きとされていました。しかし、学生時代のプロジェクトで素晴らしい日本酒を醸造できた経験から、この技術をパンに応用できればより多くの方々に酵母菌の魅力を伝えられるのではと考えていました。

卒業後は食品加工用酵素メーカーに就職しましたが、そこで産学間の認識ギャップを痛感しました。企業は大学研究を事業化に直結しにくいと捉えている傾向が強く、大学は研究に専念し社会実装に繋がらないケースが多い。双方が優れた技術を持ちながら効果的に結びついていない現状を目の当たりにし、大学と産業界の橋渡し役を担いたいと思うようになりました。

――GAPファンドプログラムの活用について教えてください。

金子：事業化の構想を温めていたものの第一歩を踏み出せずにいたなか、恩師である名城大・加藤教授のGAPファンド（「花酵母パンの素」の事業開発）採択の際、経営者候補として参画したところ、名城大学初の採択案件となることができました。GAPファンドを活用したフランスでの市場調査では、現地リサーチを通じて花酵母技術に対する海外消費者の反応や競合状況を分析することができ、「花酵母」というコンセプトは海外でも高い関心を集められることに加え、品質面でも現地製品に対する明確な優位性を確認できました。

――花酵母技術の特徴は。

金子：従来のパン製造では、ドライイーストと

天然酵母という2つの選択肢がありましたが、それぞれに課題がありました。ドライイーストはイースト臭が強く保水力が低い、天然酵母は発酵能力が低く膨らみにくいという問題です。当社が活用する花酵母は、名城大学が開発した分離・精製技術により、目的とする酵母菌のみを純粋に抽出したものです。最大の特徴は、イースト臭が全くなく、高い保水効果でバサつきを抑えながら、発酵によって華やかな香りと甘み、旨味を生み出すことです。

特に米粉パンにおいて効果は顕著です。米粉パンは味わいがシンプルでイースト臭を感じやすく、グルテンがないため膨らみにくくバサつきやすいという課題がありました。花酵母はこれらを解決し、味わい深い米粉パンの製造を可能にしました。第2回おいしい米粉パンコンテスト最優秀グランプリ、日本食品科学工学会第72回大会企業賞を受賞するなど、技術的優位性が客観的に評価されています。

――今後の展望についてお聞かせください。

金子：フランスでの調査を通じて、日本の発酵技術と米粉加工技術の国際的優位性を実感しました。現地のグルテンフリー製品と比較して、食感、風味、栄養価のすべてで差別化が可能であると確信し、中長期的には海外市場への本格展開を重要戦略として位置づけています。

大学発スタートアップの最大の価値は、基礎研究成果を直接的に社会課題解決につなげられることです。研究活動を通じて社会的インパクトを創出し、同時に研究成果を大学に還元することで、産学連携の新たなモデルを構築したいと考えています。

私自身の経験から、研究者から起業家への転身を考えている方には、一度企業で実務を経験することをおすすめします。私も酵素メーカーでの勤務を通じて、研究成果の実社会での活用方法や市場のニーズ、ビジネスプロセスを学ぶことができました。研究とビジネスの両輪を大切にしながら、新たな価値創造に取り組んでいきたいと思っています。

株式会社花酵母factory 金子 優平 氏

名城大学卒業後、食品加工用酵素メーカーでの実務経験を経て、学生時代から温めていた花酵母技術の事業化を決断。大学発新産業創出基金事業GAPファンドプログラム「ステップ1」として採択され、花酵母がパンに与える効果の解析とフランスでの市場調査を実施。現在は株式会社花酵母factory代表取締役として、日本の発酵技術の海外展開を見据えた事業展開を推進している。



大切なのは愚直に続けること。 挑戦の積み重ねが好機につながる。

「あらゆるデータとAI活用に、信頼を。」をミッションに、データを暗号化したまま分析する「秘密計算」技術の開発・提供をおこなう株式会社Acompany。KDDI株式会社のデータクリーンルームをはじめ企業の機密データ活用を支援しているほか、Intelとの共同研究やNVIDIAとの協業を展開している。



――起業のきっかけを教えてください。

高橋：学生時代は典型的なダメ学生で、午前中の授業はほとんど欠席、スマホゲームに多額を課金するほどハマっていました。起業を意識したのは、大学3年の春休みのこと。ヒッチハイクの旅に出たことがきっかけです。

節約のため、1ヶ月弱をほぼ野宿で過ごしたのですが、出会った人たちがみな親切でカンパをもらえることもあり、最終的に3,000円プラスで愛知に戻ってきました。それまでは「レールから外れると終わり」と思っていたのですが、「意外と死なないんだな」と実感。何とでもなるならやりたいことをやろうと、自分でビジネスをしたいと考えるようになりました。

――Tongaliとの出会いは。

高橋：2017年5月に参加した第1回ビジネスプランコンテストがTongaliとの出会いです。そこで「起業」や「ベンチャー」という概念を知ったことで、自分が目指す未来像を思い描けるようになりました。その後、同年12月のアイデアピッチコンテストにて「家庭教師のマッチングサービス」を提案。企業賞をいただき、その勢いのまま翌年6月に会社を立ち上げました。

――創業後の事業について教えてください。

高橋：売上は伸びていたものの「この事業を10年後も続けたいか」という自分への問いに答えられなかったため、創業3ヶ月で方向転換を決断しました。自分が本当にやりたいことは「仕組みで世の中を良くしたい」ことだと気づき、より大きなインパクトを狙えるテクノロジー領域への挑戦を決めました。当初の事業に共感してくれていたチームメンバーがほとんど抜けたため、組織としては苦しい時期でもありましたが、このタイミングで現在の共同創業者である近藤と出会えたことは非常に幸運でした。当初はブロックチェーン領域に取り組んでいましたが、2019年当時は市場が冷え込んでいて、

世界中のプロジェクトをひたすら調査する毎日が続いていました。そうしたなか「データ活用はしたいが外部には出たくない」という声を複数の場所で耳にし、「秘密計算」技術ならこのニーズに応えることができると感じたのが、事業を転換する大きなきっかけでした。当時、秘密計算は研究こそ進んでいたものの、社会実装は初期段階であり、世界的にスタートアップは数十社程度にとどまっていた。一方、ブロックチェーン市場はすでに数万社規模に拡大していたため、秘密計算分野のほう为新たなポジションを確立できる可能性が高いと考え、現在の事業に取り組むことを決めました。

――起業を目指す後輩たちへのアドバイスと、今後の展望を教えてください。

高橋：まずお伝えしたいのは、会社経営に裏技はないということです。目の前の問題から目を逸らさずに、問題解決のための行動を愚直に続けることが一番の近道です。チャンスは周りからの信頼で巡ってくるし、信頼の積み上げは複利を生んでくれます。運は確かに重要ですが、同時に、運を掴む能力も必要だと思います。個々の成功率を上げるのは難しくても、行動の総量を増やすことで結果的に機会を掴める可能性は高まるので、とにかくチャレンジを積み重ね、そのうえでぜひ後悔のない選択をしてください。みんなが進む道が正しいわけではないですし、自分の優先順位を見つけれれば、無限の可能性が広がるはずです。

Acompanyはまだまだ小さな会社ですが、将来は日本を代表する会社になりたいと本気で思っています。これからもプライバシーテック分野で世界をリードし「機密データとデータ活用の両立」という社会課題の解決に尽力していきます。



株式会社Acompany 高橋 亮祐 氏

1993年愛知県豊田市生まれ。名古屋大学工学部在学中の2018年に株式会社Acompanyを創業。2020年より、データを暗号化したまま分析する「秘密計算」技術の社会実装事業をスタート。これまでに累計21億円の資金調達を実現。2022年Forbes「30 Under 30 Asia」選出。同年、プライバシーテック協会を設立し、会長に就任。

海外通販の「面倒くささ」を解消。 AI×越境ECで世界を変える。

ENTREPRENEUR INTERVIEWS

03

韓国10,000店舗以上の商品を、日本から簡単に購入できるAI越境ECプラットフォーム「SAZO」。
代行手数料0円、AIによる為替・関税・送料の自動計算など画期的なシステムを武器に、2024年5月の
サービスリリース以降、四半期ごとに179%成長という驚異的なスピードで事業を拡大している。

――起業までのストーリーを教えてください。

ギル：もともと日本の文化が大好きで、高校時代には、韓国語に翻訳されていない日本の文芸作品を読むためにオリジナル翻訳ツールをつくったりもしていました。そうしたなか、生活費と学費を日韓政府が支援してくれる留学生交流事業があると知り、選考を経て名古屋工業大学に入学しました。日本語の上達に一番役立ったのはアルバイトです。韓国居酒屋、営業代行、携帯ショップなど、学業の傍らさまざまな仕事を経験。その後、一度韓国に戻って兵役を終え、2023年4月に日本に戻ってきました。「いつか起業したい」という漠然とした思いはありましたが、本格的に動き出したのは、復学後、名工大の起業部に入ってからです。そこでTongaliのビジネスコンテストを知り、海外通販の課題を解決する事業でエントリーすることに。高校時代から、国境を越えて商品を買う際の不便さを感じ続けており「自分と同じ悩みを持つ人の役に立ちたい」という思いが、事業のヒントになりました。

――見事、コンテストで優勝されました。

ギル：うれしかったですし、先輩起業家やVC、名古屋の学生起業家コミュニティとのつながりもでき、起業する勇気を与えてくれました。もう一つ背中を押してくれたのは、AIの進化です。ちょうどChatGPTが登場した時期だったこともあり「AIを使えば、画像から重量や体積を推定して、関税や送料を自動計算できるかもしれない」と確信を持つことができました。

――今後の展開は。



ギル：日本から韓国の商品を買うサービスに加えて、韓国から日本の商品を買うサービスもローンチしました。日本の商品は海外でもとても人気があるので、今後はアメリカ、中国、フランス、台湾など、世界中どこからでも自由に商品を買うグローバルプラットフォームをつくりたいと考えています。

――起業してよかったことは。

ギル：世界が変わったことです。上場企業の社長と対等に話せるようになったり、先輩経営者の方々が応援してくださったり。普通に就職していたら、10年後でも経験できなかったようなことが、今起きています。これは本当に、他では絶対に味わえない経験です。今はIPOに向けて準備を進めていますが、会社を大きくしていくプロセスそのものが楽しいですね。チームと一緒に課題を乗り越えながら、サービスを成長させていく。その過程で得られる達成感は、何物にも代えがたいものがあります。

――起業を考えている学生にメッセージを。

ギル：まだ成功したわけではないので偉そうなことは言えませんが、一つ伝えたいのは、「日本での起業はノーリスク・ハイリターン」だということです。日本は採用される側が圧倒的に有利な市場で、これは世界的に見ても珍しいこと。起業して失敗しても、再び就職できるチャンスはいくらでもあります。海外、特に韓国やアメリカでは、起業して失敗したら就職先が見つからないことも珍しくありませんが、日本は違います。いつでも戻れる環境だからこそ、リスクを恐れずにチャレンジしてほしい。向いていなければ就職すればいい、という気持ちで起業してもいいのではないのでしょうか。また、日本は世界でもっともシード資金を調達しやすい国だと感じています。学生起業家に投資してくれるVCや支援団体が多いので、こうした環境もぜひ活用してください。

株式会社SAZO ギル・マロ氏

韓国・仁川科学芸術英才学校卒業後、2019年に日韓共同高等教育留学生交流事業で名古屋工業大学入学。2023年にTongali ビジネスプランコンテストで優勝し、同年10月に株式会社SAZOを設立。2025年5月、プレシリーズAラウンドで7.1億円の資金調達を完了。現在は名古屋、東京、ソウルの3拠点体制で、グローバルな越境ECプラットフォームの構築に挑戦している。



SUPPORTERS

Tongaliを支えるサポーターのご紹介

大学発ベンチャー応援事業へ 寄附のお願い

Tongali では、東海地域におけるスタートアップ・エコシステムの基盤形成の一つとして、学生に対するアントレプレナーシップ教育、起業家育成、研究・教育成果の事業化を目指す

大学発ベンチャーの起業支援を行っております。これらの活動は、大学を飛び出し、行政や企業と連携しながら、社会に対するイノベーションの創発、地域活性、グローバル展開などに貢献しております。今後も、東海地域におけるオープンイノベーションの促進、およびスタートアップ・エコシステムの形成に向けて、アントレプレナーシップ教育、大学発ベンチャーの起業支援を推進してまいります。

ぜひ、ご賛同をいただき、寄附金としてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

サポーター特典

	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ	エンジェル
Tongaliオリジナルグッズ・情報誌の贈呈	●	●	●	●	●	●
公式WEBでのロゴ掲載					●	
情報誌でのロゴ掲載					●	
アイデアピッチコンテストへの賞提供				●		
ビジネスプランコンテストへの賞提供						
情報誌・公式WEBへの特集記事の掲載						
成果発表会招待			●			
個別ワークショップの開催		●				
成果発表会の個別開催	●					



ご寄附の
詳細は
こちらから

TONGALI SUPPORTERS

坂 清子 様



日比野 三吉彦 様



DIAMOND

PLATINUM

GOLD

SILVER

SUPPORTER INTERVIEWS

Tongaliサポーター
これからへの期待と



アントレプレナーシップとは、問題解決へと導く力。 10年後を見据えた人材の循環にも期待したい。

――長らくのご支援ありがとうございます。
城さんは、企業がスタートアップ支援に取り組む意義についてどのように捉えられていますか。

城：SMBC日興証券では「健全な資本市場の発展を、豊かな人生・社会の実現につなげる」という経営理念を掲げています。この理念における「資本市場」というのは、決してお金だけの話ではありません。人材が育ち、資金が集まり、そこで新しい事業が生まれ、それを支える大人たちがいる。こうした健全なエコシステム全体も「資本市場」の一部であり、証券会社として、社会的価値を創造する企業の成長をお手伝いすることが我々の役割です。特に

スタートアップの世界は変化のスピードが速く、社会を変える大きな可能性を秘めています。我々の前の世代が築いてきたものを、次世代にどう継承していくかという点も意識しながら取り組むことが重要です。

短期的な効率だけを求めるなら、もっと別のアプローチもあるでしょう。しかし我々が目指しているのは、お金と人材が集まることによって、自然とユニコーン企業のようなものが生まれてくる環境をつくることです。そしてそれは一過性のイベントではなく、継続的な教育と対話の基盤として機能する必要があります。Tongaliの素晴らしい点は、単発のイベントではなく、継続的な教育プログラムとして機能していることです。学生たちも我々大人も、常に

チャレンジし続ける姿勢を持ち続けなければ、この取り組みは続きません。だからこそ、自分たちも常にオーナーシップを持ってチャレンジしていく。そんな気持ちで参加しています。

――Tongaliとの関わりのなかで、どのような変化や成長を感じますか。

城：第1回目のアイデアピッチコンテストの応募数は10人ほどだったとのことですが、今では200人を超えていると聞いています。そうした数の変化だけでも、Tongaliというプロジェクトの広がりを感じます。
私に関わってきた4年間を振り返ると、最近の学生たちはみな勉強家で、準備にも手を抜き

に聞く、 起業家へのヒント。

ません。メンターや専門家の充実など、指導体制がうまく機能していることも一因でしょう。また、単にビジネスアイデアを競うだけではなく、社会課題の解決を意識した提案も増えており、本当に世の中の役に立つことを手掛けたいという意識が高まっているのを感じます。アントレプレナーシップ教育の本質は「起業家的」な姿勢や能力を育むことだと理解していますが、全員が起業というゴールを目指すためのものではないと考えています。重要なのは、何らかの問題が起きたとき敏感に察知し、自分なりに解決に向かって行動を起こせる人材を育てることです。

2000年代の起業ブームの時はどちらかというところ、カリスマ的な起業家が多かったと思います。「いかに上場して大きく稼ぐか」というところがゴールになっているような、そんなベンチャー企業が目立っていました。

一方で最近のTongaliに目を向けてみると、ごく普通の学生たちが教育や対話を通じて自分なりの問題意識を持って一歩を踏み出してみる、というシーンによく出会います。アントレプレナーシップ教育を通じて生まれた「小さな挑戦者」の広がりこそが、よい未来を紡ぐ基盤になっていくのではないかと期待しています。

――スタートアップエコシステムの観点における、東海地域の評価は。

城：名古屋を中心とする東海地域は製造業が非常に強い地域です。大企業も多数存在し、技術力も高い。そうした要因もあって、これまでは大企業の中での変化が中心で、外部からの新しい風による影響は比較的少なかったように思います。

しかし、今は大企業自身が変化を求めている時代です。彼らもスタートアップのような動きで変化を起こそうとしていますし、外部の

イノベーションにも注目しています。そういう意味では、地域の企業とスタートアップが協業する土壌が整いつつあると感じています。

特に、IoTやAI、環境技術などの分野では、製造業の知見とスタートアップの革新性を組み合わせることで、世界に通用する新しいビジネスが生まれる可能性がありますし、実際にTongali出身の起業家の中にも、そうした方向性で事業を展開している方がいらっしゃいます。また、地域の雇用創出という観点でもスタートアップの存在は重要です。優秀な学生が東京に出て行ってしまわずに、地元でチャレンジできる環境があることで、人材の流出を防ぎ、むしろ外部から人材を呼び込むような地域になってほしいと思います。

――今後10年を見据えTongaliに期待することは。

城：まず何より重要なのは、この取り組みを継続することです。立ち上げから10周年を迎え、サポート体制も大きく変化したかと思いますが、その過程で培われたノウハウや精神を確実に次の世代に継承してほしいと思います。

加えて期待しているのは、人材の循環が生まれることです。例えば10年後、いま登壇している学生たちが支援する側に回っていたら素晴らしいですね。起業家として成功する人もいれば、大企業でイノベーションを起こす人もいるでしょう。どんな立場であっても、次の世代をサポートする側になって、このエコシステムを支えてくれることを期待しています。そして、Tongaliにはこれからも、継続的な教育プラットフォームとして機能し続けてほしいと思っています。大学を基盤としているからこそ、単なるビジネスコンテストで終わらない、本当に意味のある学びの場であり続けること

が重要です。

学生たちにとって、在学中にオーナーシップを持って何かに取り組む経験は、起業するしないに関わらず、どんな職業に就いても必要なスキルです。社会に出てから何かにチャレンジしたいと思った時に、「あの時Tongaliで学んだことが活かせる」と思ってもらえるような基礎体力を身につけてもらいたいですね。大学という環境だからこそ、失敗を恐れずに純粋にチャレンジできる。そういう学びの場としての価値を大切に続けてほしいと思います。10年後、20年後を見据えた時に、このTongaliでの経験が彼らの人生の財産になっているはずですから。ただし、我々大人側も常に学び続け、変化し続けなければなりません。学生たちががんばっているのを見て「がんばれよ」と高みから応援するだけではなく、我々自身がオーナーシップを持って、積極的にこの環境を継続していく姿勢も重要だと考えています。

――最後に、若い世代へのメッセージをお願いします。

城：大切なのは、「思い切ってバットを振ってみること」です。当たる当たらないは後から考えればいい。何もしなければ何も始まりません。そして、起業することだけがすべてではありません。どのようなキャリアであれ、何か自分がチャレンジしたいことがあれば、それを大事にしてほしい。我々大人は、そういう一歩を踏み出した若い人たちを全力でサポートしてあげる存在でありたいと思っています。繰り返しとなりますが、Tongaliという場所は、失敗を恐れずにチャレンジできる環境です。ここで得られた経験は、どんな道に進んでも必ず活かされるはず。ぜひ積極的に参加して、多くの仲間とともに成長してほしいと思います。



SMBC日興証券株式会社

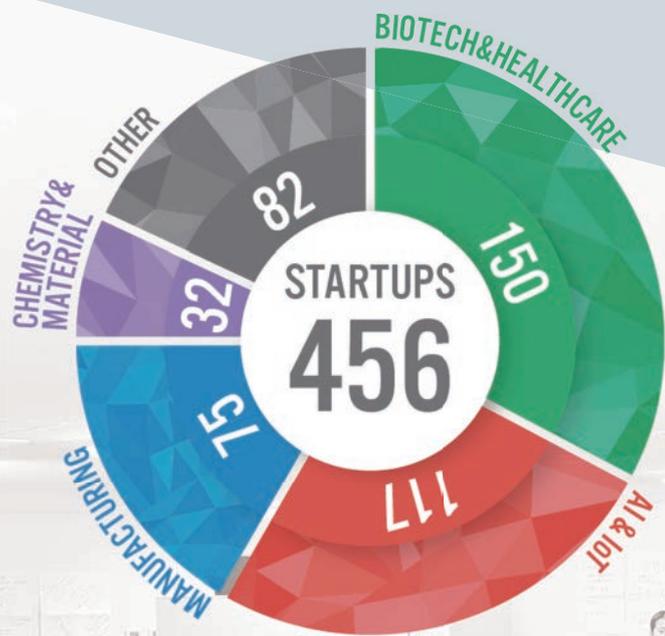
名古屋コーポレート・ファイナンス本部

本部長補佐 城和孝氏

1970年、愛知県生まれ。1994年慶応義塾大学経済学部卒業後に日興証券(現SMBC日興証券)に入社。個人営業、法人営業、商品部門を経て千里中央支店、山形支店、岐阜支店の支店長を歴任。2022年5月より現職。東海地区の産学連携・IPO支援の担当者としてスタートアップ支援に従事。

KNOCK-KNOCK-STARTUPS

とっきんとっきんな
大学発スタートアップに出会おう！



大学発スタートアップは、革新的な技術やビジネスモデルを基に、世界に向けた新しい価値の提供にチャレンジしている。それぞれの技術やビジネスモデルの未来への貢献を想像すると、左に示した数字以上の価値が見えてくる。また、社会的な信用の一つの指標として、大学発ベンチャー称号授与制度を設けている大学もある。

ぜひ、東海地区発の“とっきんとっきん”な大学発スタートアップの扉をノックし、未来に繋がるビジネスを体感してほしい！





BIOTECH&HEALTHCARE

バイオテック・ヘルスケア



株式会社
ヘルスケアシステムズ

郵送検査事業、バイオマーカー・検体検査技術の研究開発、機能性食品の研究開発

名古屋大学



株式会社
PREVENT

生活習慣病既往者向けのIT技術を介した健康づくり・重傷化予防事業

名古屋大学



株式会社J-ARM

動物再生医療用細胞培養キットおよびシステムの開発・販売、培養トレーニング、培養器機の販売

名古屋大学



株式会社
フレンドマイクロブ

微生物を利用した廃棄物・排水の処理および廃棄物の有用物質変換

名古屋大学



合同会社
BeCellBar

化合物によるタイトジャンクションバリア緩和・強化技術の提供と化合物探索支援

名古屋大学



iBody株式会社

独自のEcobody技術を用いた治療薬・診断薬・試薬向けのモノクローナル抗体開発

名古屋大学



グランドグリーン
株式会社

ゲノム編集技術や先端育種技術、AIを用いて変化する環境に適応する作物を迅速に開発

名古屋大学



株式会社BioCMOS

半導体集積回路および回路基板の設計・製造、ファームウェアの開発

名古屋大学

NU-Medライフケア
システムズ株式会社

医療、福祉、健康を支えるソフト・ハードウェアの研究開発と、実証・実験フィールドの提供

名古屋大学



LaView株式会社

家庭で「血管を診る」ことを実現

名古屋大学



Craif株式会社

がん領域を中心とした疾患の早期発見や個別化医療、次世代検査の研究開発、がんリスク検査 miSignal® (マイシグナル) の提供

名古屋大学

株式会社Craftide

タンパク質、ペプチドの化学合成による創業

名古屋大学



メドリッジ株式会社

メディカル業界向けデバイス、プラットフォームの開発・提供

名古屋大学



株式会社
Meis Technology

間葉系幹細胞破砕液を用いた人・動物向け応用製品の開発・販売

名古屋大学



株式会社
iCorNet研究所

重症心不全患者に対するテイルーメイド方式心臓サポートネット治療の事業化

名古屋大学



レアバリエント
株式会社

疾患ゲノムの解析によるスクリーニングプラットフォームの構築にむけた環境整備と関連技術の開発

名古屋大学



クアドリティクス
株式会社

リアルタイム心拍変動 (HRV) 解析技術によるヘルスケアサービス

名古屋大学



Dアミノ酸ラボ
株式会社

D-アミノ酸、D-アミノ酸関連酵素並びにD-アミノ酸関連微生物の研究、製造及び販売

名古屋大学



株式会社
マトイセラピューテクス

細胞療法を用いた癌治療研究開発

名古屋大学

MILAI株式会社

食事療法アプリの開発、管理およびライセンス

名古屋大学



Crafton
Biotechnology
株式会社

有効で安全な mRNA 医薬品の開発、製造、販売、使用許諾

名古屋大学



合同会社
NaturalChem

動植物に含まれる機能性成分の探索、分析、開発、製造、販売。研究用動植物機能性成分の受託製造及び販売

名古屋大学



株式会社
ジーシーサイエンス

「セルフメディケーション」をコンセプトに、予防、検査、療養を自身で行うための手助けとなる製品を提供

名古屋大学



イルミメディカル
株式会社

光が届かず光治療のできなかった体内深部など、全身に光を届けるシステム、デバイスの開発

名古屋大学



株式会社Quastella

細胞画像解析技術を基盤とした細胞品質管理システムの開発販売事業。今よりもっと細胞製品が身近な存在となることを目指します

名古屋大学



株式会社
セルターゲット・メディカル

PiggyBacトランスポゾン法を用いた遺伝子改変技術により、各種疾患の治療法・治療薬の研究開発を行うことを目的とする

名古屋大学



株式会社TOWING

農業関連商品の企画、開発、調査、立案及び販売並びにそれらに関するコンサルティング

名古屋大学

株式会社Demeter Ceres

作物のバイオマスや搾汁液を原料としたエネルギーや飼料生産を普及させるため、名古屋大学発新品種の種子販売事業などを行う

名古屋大学



株式会社
MEDICOLAB

パーキンソン病の診断支援 AI プログラム医療機器の開発

名古屋大学



ゾーム株式会社

独自に開発した幹細胞技術をもとに、間葉系幹細胞・幹細胞加工物に関する製造、開発、販売、コンサルティングを行う

名古屋大学



株式会社
クロムビジョン

インフォームドコンセントを支援する映像 V-IC を医療機関に提供しています。医師の負担軽減と患者の理解進化を実現します

名古屋大学



株式会社
メイボックス

デジタル技術を駆使した高クオリティ医療の提供と、それらの技術を安心して開発可能とするスマート医療のデファクトを目指します

名古屋大学



株式会社UBeing

味覚調整デバイス umaiNa を利用し減塩食等も美味しく、食事が健康で美味しい社会を実現する

名古屋大学



株式会社KANNON

「情報格差をなくす」を Mission に掲げ、「フェアナビ」の開発・販売などアクセシビリティを軸に事業を展開しています

名古屋大学



PLANT DATA 株式会社

植物の生体情報の計測と、そのデータを栽培管理に活かすサービスを提供します

豊橋技術科学大学



株式会社豊橋バイオマスソリューションズ

メタン発酵・バイオガス発電などのバイオマス活用事業のコンサルティング業務

豊橋技術科学大学



合同会社サイナルジ

藻類を用いた新しい製品やサービスの提供などで人々の生活の質向上を目指します

豊橋技術科学大学



有限会社ビコデバイス

汗・皮膚ガス分析

名古屋工業大学



ORTHOREBIRTH 株式会社

医療品等（人工骨）の研究開発・販売

名古屋工業大学



株式会社yolidoli

医療ツーリズムプラットフォームの開発・運営

名古屋工業大学



株式会社食とつながり

産前産後、乳幼児期の両親に伴走するサービスの提供

岐阜大学



株式会社 e-NA Biotech

新規核酸医薬品等の分子設計・合成に係るコンサルティング業、知的財産及び特許の管理

岐阜大学

株式会社GF・Mille

医薬品、医療用及び医療外試薬類、食品添加物等各種薬品の製造、販売及び輸出入事業

岐阜大学



GRC株式会社

放射線診療に関する技術指導・コンサルティング事業、遠隔画像診断

岐阜大学



エーエムアール 株式会社

分析機器の販売業務、システムの最適化や研究ソリューションの提案

岐阜大学



株式会社 ゼノバイオテック

化学者向けの化合物毒性予測ソフトウェアの開発

岐阜大学



株式会社 マスターオブサイエンス

先端科学技術開発に関するシーズ育成事業、シーズ評価、製品戦略コンサルタント

岐阜大学



有限会社 メディカル愛

医療用・出版用メディカルイラストレーションの制作及び販売・レンタル

岐阜大学



長良サイエンス 株式会社

研究用試薬の製造販売、注文試薬の生産、受託研究

岐阜大学



一般社団法人東海マススクリーニング推進協会

先天性代謝異常症及び先天性免疫不全症などの希少疾病の治療と診断に関する調査及び研究

岐阜大学



株式会社 しずい細胞研究所

細胞の品質・流通管理システムの開発

岐阜大学



株式会社GIFU EXOSOME

細胞外分泌小胞（EV）の測定及び試薬の製造及び販売、EV 含有食品等の製造及び販売

岐阜大学

株式会社OhGood

低酸素・低糖処理（OGD 処理）細胞製剤の研究開発、特許管理

岐阜大学

株式会社 Gifu BioPharma

人工核酸の考案・作製、核酸医薬の創成

岐阜大学

株式会社 Vascular Works

医療系受託検査、血管の画像診断

岐阜大学



株式会社 Arrowsmith

薬剤耐性菌や難治性細菌感染症に対する新しい治療法「ファージセラピー」の開発

岐阜大学



ユナイテッド・イムニティ 株式会社

がん免疫療法を中心とする医薬品の研究・開発・製造・販売

三重大学



MZT株式会社

ゼブラフィッシュによる医薬品開発支援事業

三重大学



バイオコモ株式会社

バイオ医薬品及びバイオ製品の開発

三重大学



うれし野アグリ 株式会社

房どりミニトマトの生産および販売

三重大学



株式会社 機能食品研究所

食品、化粧品等の臨床試験の受託

三重大学



株式会社 デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬開発

三重大学



ティーセル ヌーヴォー 株式会社

CAR-T 細胞療法によるがん治療のための医薬品の研究・開発・製造・販売

三重大学



ゼブライノバイト 合同会社

ゼブラフィッシュを活用したスクリーニング技術を基盤とした創業開発支援

三重大学



株式会社 花酵母factory

有用微生物の採取及び販売、微生物を利用した製品の開発及びコンサルティング

名城大学



株式会社OVUS

ゲノム、遺伝子、染色体に関する検査や研究の受託

藤田医科大学



MabGenesis 株式会社

医薬品領域（ヒト、動物）における新規治療用抗体創出事業

藤田医科大学



ジェノニクス 株式会社

疾病リスク判定や治療薬選択の指標の提供等のサービス

藤田医科大学

株式会社バイオシスラボ

プレ・プロバイオティクスを基軸としたサイエンスコミュニケーション事業推進サポート

藤田医科大学



株式会社キャンパス

抗癌剤の研究開発

名古屋市立大学



有限会社胎児生命科学センター

遺伝性疾患の出生前診断

名古屋市立大学



株式会社蛋白質科学研究所

標的タンパク質の活性を阻害するペプチドの受託設計

名古屋市立大学



株式会社チャネルサーチテクノロジー

創薬研究及びイオンチャネル創薬ツール販売と受託研究

名古屋市立大学



株式会社ハートビートサイエンスラボ

生体信号の計測、処理、解析事業

名古屋市立大学

一般社団法人NCU CRESS

ICTを利用した臨床研究デジタルソリューション提案事業

名古屋市立大学



SRHリサーチ株式会社

医療機器及び診断支援の研究、開発、製造及び販売

浜松医科大学



株式会社プレッパーズ

質量分析に関する受託事業および質量分析関連装置や技術の研究・開発

浜松医科大学



株式会社Eu-BS

バイオサイエンス関連の受託研究・製品開発

静岡大学



一般社団法人みんなのケア情報学会

認知症に関する啓発事業と調査研究事業

静岡大学

株式会社浜松バイオチェスト

ユーグレナの大型化、自動化

静岡大学

株式会社ニュー・ディメンジョンDNA研究所

植物品種の開発、維持、普及

静岡大学

株式会社スイースト

酵母を利用した製品の製造、加工、販売

静岡大学

浜松ビジョンテクノロジー株式会社

医療機器開発、販売

静岡大学



株式会社アデノプリバント

大腸がんリスク検査「コリバクチン検査」等のリスク検査や治療法の研究開発

静岡県立大学



株式会社396バイオ

光を利用して微生物を活性化させる技術等の細胞・微生物及びその利用に関する事業

静岡県立大学



Luna RD株式会社

最先端のナノDDS技術を駆使した医薬品・ワクチンの開発

静岡県立大学



合同会社Digsense

AIで食品のキャラクターセットを予測するFlavor index サービスの提供

静岡県立大学

株式会社Quantaris Lab

GCMSを用いた受託分析と機器の販売 / コンサルタント業務

静岡県立大学

AI & IOT

AI & IoT



有限会社ユビグラフ

ユビキタス関連システムの開発および販売

名古屋大学



株式会社サイエンスインパクト

放射線計測（宇宙線ラジオグラフィ）、Webメディア運営

名古屋大学



株式会社MEBAIS

「医療従事者の裏側の負担を軽減する」医療のレセプトを最適化するソリューションを提供

名古屋大学



株式会社TARVO

音声加工・変換の開発受託、音声加工プラットフォーム公開

名古屋大学

OnClouds株式会社

自律移動ソフトウェア実証実験、カメラ姿勢推定地図生成

名古屋大学



アイクリスタル株式会社

プロセスインフォマティクスによる開発・量産プロセスの最適化ソリューションの提供

名古屋大学



一般社団法人モビリティと人のデータラボ

モビリティに関わる人間特性のデータベースの維持・管理・拡充及びデータを利用した研究開発の促進

名古屋大学



株式会社フィットメトリクス

植物科学・農学におけるデータ取得・解析技術の受託開発やコンサルティング

名古屋大学



株式会社ポットスチル

人と人工物間のインタラクションに関する技術開発と製品への応用

名古屋大学



株式会社CYPE Technology

臨場感のあるVR講義を制作・配信する仕組みや遠隔で実験や演習を行う仕組みを提供

名古屋大学



ZATITECH 合同会社

自動運転車両制御システムの開発、コンサルティング、ソリューション提供等

名古屋大学



株式会社Acompany

秘密計算関連の製品・技術及び機密データ活用に関するコンサルティングサービスの提供

名古屋大学



**株式会社
エクセイド**

自動運転システムの研究・開発及びモビリティサービスの提供

名古屋大学



ZAZA株式会社

エンジニア・研究者向け産業用製品グローバルプラットフォーム

名古屋大学

株式会社WITH

協調型物搬自動運転システムの販売とMaaS企画

名古屋大学



株式会社Sonoligo

音楽・スポーツ・アートのイベント予約・参加情報をサブスクリプションにて提供するプラットフォーム運営

名古屋大学



**FAINZY
TECHNOLOGIES
株式会社**

「ラストマイル配送をロボットで変革する」自動運転、AI、IoTでインテリジェントな配送ロボットを創造

名古屋大学



**株式会社
オプティマインド**

アルゴリズムを用いた輸配送最適化のソリューション提供

名古屋大学



AquaAge株式会社

肌画像 AI 分析による肌に合うスキンケア商品を提案、自動運転シミュレーション環境の構築

名古屋大学



SSR株式会社

スペクトル超解像技術により、分光分析の高精度化、高速化を実現するソフトを開発しています。

名古屋大学



**株式会社
マップフォー**

3次元地図、空間認識に関する技術開発及びソリューションの提供

名古屋大学



株式会社FriSti

FriStiは住まい選びを快適にする生成AIを活用したプラットフォーム「ゆめたて」を開発・運営しています

名古屋大学



**株式会社
トライエッティング**

サプライチェーン領域における業務特化型拡張知能 (AI) の製品販売事業

名古屋大学



ジークス株式会社

AIの研究開発・業務委託ソフトウェアの販売

名古屋大学



株式会社Hashup

大学生向け授業評価サイト「楽単らくだ」の運営と、AI開発受託やコンサルティング

名古屋大学



株式会社FAI

自社開発のCAEやトポロジー最適化技術を活用し、シミュレーションベースのモノづくりに対するソリューションを提供

名古屋大学



株式会社Playbox

「人の動きを計算可能にする」を目指し、スポーツ映像の記録・編集・分析作業を自動化するAI映像分析技術の開発・提供を行う

名古屋大学



**株式会社
コネクティブ**

Webシステム開発

名古屋工業大学



**株式会社
テクノスピーチ**

最先端の音声関連技術

名古屋工業大学



**有限会社
来栖川電算**

ソフトウェア開発

名古屋工業大学



合同会社3Dragon

3D表示装置・計測装置の開発・販売

名古屋工業大学



**株式会社
スペースビジョン**

3Dスキャニング技術

名古屋工業大学



**株式会社
エンセファロン**

機械学習を用いたシステム開発

名古屋工業大学

UTSテクノロジー株式会社

「高齢者見守りシステム」の実用化等

名古屋工業大学



株式会社Lab316

コンテンツ・メディア事業

名古屋工業大学

**合同会社Operation
Technology Associate**

サイバーセキュリティに関する演習実施・教育活動支援

名古屋工業大学

合同会社エンターテイル

Webサービス開発

名古屋工業大学



**AGREEBIT
株式会社**

合意形成のためのD-Agreeサービスの提供

名古屋工業大学



株式会社SAZO

越境ECプラットフォームSAZO運用・開発および物流AIの開発

名古屋工業大学

株式会社Lukos

製造業を対象としたAI技術によるITソリューションの提供、プログラミング学習支援

岐阜大学



**株式会社
ヒューロビント**

「試作開発」「製品開発支援」のトータルソリューション

岐阜大学



**株式会社
ロジック
ソリューションズ**

技術者育成教育事業、フレックス・ラーニング・システム (FLS) の開発・販売・サポート

岐阜大学



サグリ株式会社

衛星データ解析および機械学習による事業創出

岐阜大学



N研究所株式会社

シミュレータ、研究受託、理論解析作業、AIモデリング、制御ソフト開発

岐阜大学



**株式会社
アルティメック**

施設・設備に合わせたIoT・DX化支援システム開発

岐阜大学



**株式会社
ウエルラビィ**

医療、福祉および健康増進に関する製品の企画、試作開発、製造、販売

岐阜大学



**株式会社
ユニークアグリ**

農業IoT機器、生育調査アプリの開発

岐阜大学

株式会社エココロロボ

自律移動ロボの開発

岐阜大学



**株式会社
Mirume AI**

AI 検査システム・装置のコンサルティング販売
事業

岐阜大学



**株式会社
医用工学研究所**

医療用データウェアハウス (病院の経営支援、
診療支援、研究支援、業務効率の改善) の
立案・構築・導入

三重大学

株式会社データスピリット

コンピュータを応用した設備診断等のシステ
ムの開発、販売

三重大学



**株式会社
Anotherworker**

コンピュータ使用業務に対する効率化・自動
化プログラムの作成・提供

三重大学



**株式会社
プロジェクトM**

HP制作、キッチンカー検索サイト「mogmap」
の運営、情報発信サービス「Mieet Plus」
の開発・販売

三重大学



**AutoSystems
株式会社**

ハードウェアおよびソフトウェアの研究・開発

名古屋市立大学



株式会社クオトミー

医療 DX/AI

名古屋市立大学



センスコム合同会社

振動解析サービスの提供、振動解析技術コ
ンサルティング等

愛知県立大学



**株式会社
エクサウィザーズ**

AI を活用した介護ビジネス等

静岡大学



**株式会社
プログメイト**

小学生・中学生向けプログラミングスクール
の展開

静岡大学



アグリエア株式会社

農業 AI に関する研究開発・コンサルティング

静岡大学

MIR株式会社

ロボティクス技術のコンサルティング

静岡大学



**株式会社
カルテット
コミュニケーションズ**

インターネット広告運用代行、運用支援ツ
ールの自社開発

静岡大学



**スリーカウント
株式会社**

インターネット広告運用代行、HP 制作、各
種 DTP 制作、採用コンサルティング

静岡大学

アクロ・スペース合同会社

情報処理・情報提供サービス、スマートフ
ォンアプリの開発

静岡大学



パロアルト株式会社

企業の人材育成・DX 推進・サイバーセキュ
リティ対策の支援

静岡大学



株式会社AI技研

AI・デジタル計測・信号処理技術のコンサル
ティング・教育と人材育成

静岡大学



株式会社Woldy

IoT デバイス・アプリ・Web サービス開発、
猫の IoT 首輪の開発

静岡大学



合同会社DD

AI を活用した英語学習サービス

静岡大学



**合同会社
MODE・CREATE**

第三者特許監視データベースのソフトウェア
開発と販売、及び顧客への運用コンサルティ
ング

静岡大学



**株式会社
トークトレーナー**

AI を用いた英語学習アプリ開発

静岡大学



株式会社LightNow

AI 面談支援サービスによる 50 人未満事業場
のストレスチェック

静岡大学

Docs株式会社

映像を中心としたクリエイティブ制作、プラン
ニング支援

静岡大学

**インテリジェント・ヘルスケア
研究院株式会社**

高齢者支援策に関するコンサルタント業務

静岡大学



**合同会社
アラモードメディア**

映像制作・配信、教育コンテンツの提供、ラ
イブ配信、ICT 活用、地域活性化

静岡大学



マービット合同会社

デジタルサイネージ等の ICT システム及びソ
フトウェアの企画・開発・販売・教育

静岡県立大学



株式会社Yaqumo

中性原子を用いた革新的な量子コンピュータ
ハードウェアの研究開発

自然科学研究機構

MANUFACTURING

モノづくり



**株式会社
Photo electron
Soul**

電子ビーム生成システムの開発・製造・販売

名古屋大学



NU-Rei株式会社

プラズマ技術を用いたオンリーワン製品の開
発・製造・販売

名古屋大学



株式会社U-MAP

AIN ファイバーファイラー等の破壊的な新材料
と AI を駆使した加工技術による革新的工業
製品を展開

名古屋大学



**株式会社
日本中性子光学**

光学素子、中性子計測用装置、超伝導加速
器用検査装置、放射線計測用装置の開発・
販売

名古屋大学



**Link T&B
株式会社**

パワーエレクトロニクス機器の研究・開発・販売・技術コンサルティング

名古屋大学



**株式会社
UJ-Crystal**

シリコンカーバイドウェハ (SiC ウェハ) の開発・製造、および販売

名古屋大学



**株式会社
Power Design
Laboratory**

車載電源回路や急速充電器などカーボンニュートラル実現に貢献する電力変換回路およびシステムの企画・開発・プレ量産試作を展開

名古屋大学



ULTEC株式会社

ULTECは2025年に設立され、紫外線レーザーダイオードの販売を行う企業です

名古屋大学

株式会社ThermieL

ThermieLはサーモグラフィによる熱物性マッピング技術を中核とし、半導体の熱設計に新たなソリューションを提供します

名古屋大学



**株式会社
パワーウェーブ**

波動の力を活用し、広範囲かつ大電力をワイヤレスで伝送する技術を社会に広げます

豊橋技術科学大学



株式会社OptTech

製造業や精密部品に関わる様々な課題に対し、照明と機械学習で解決に導きます

豊橋技術科学大学



**株式会社
産学官連携エンジニアリングセンター**

切削工具の海外販売

名古屋工業大学



株式会社アパード

パワーエレクトロニクス関連コンサルティング

名古屋工業大学



**株式会社LIFULL
ArchiTech**

設備材料の研究開発

名古屋工業大学



**株式会社
フォトニック・エッジ**

ミリ波・テラヘルツ波帯のRF機器、及び計測システムの提供

岐阜大学



**株式会社
ファイナルマーケット**

透水性舗装の設計、施工

三重大学



**合同会社
アンカーアセット
マネジメント研究会**

アンカーに関する研究開発、調査、コンサルティング

三重大学



**株式会社
プリンシプル**

産業機器、医療機器の開発、設計、製造

三重大学



**株式会社
はままつメディカル
ソリューションズ**

医療機器の開発、申請、製造及び販売

浜松医科大学

**株式会社
Sound Concierge**

建築の音響設計・研究開発・スピーチライバシーテクノロジー応用の機械開発

静岡大学



**株式会社
プラズマ
アプリケーションズ**

光源応用製品製造

静岡大学



**株式会社
浜松カーボニクス**

カーボンナノチューブの開発・製造

静岡大学



株式会社ANSeeN

CdTe 半導体検出器の設計開発・販売

静岡大学



**株式会社
三浦CAD・CAM
研究所**

CAD/CAM/CAEに関するコンサルテーション、ソフトウェア開発

静岡大学



株式会社パパラボ

高忠実度色再現技術による色・質感測定システムの開発・製造・販売

静岡大学



株式会社アーミス

パワーエレクトロニクス・モーターに関する技術教育、技術支援、製品開発

静岡大学



**ライドマティクス
テクノロジーズ
株式会社**

RTK-GNSS (高精度測位技術) を活用したアプリケーション開発

静岡大学



**S-Bridges
株式会社**

茶葉・茶殻を含む食品からのタンパク質の抽出およびその製造プロセスの確立

岐阜大学



**株式会社
eZovインター
ナショナル**

水・空気の浄化に関する設備、その他周辺機器の企画・開発・製造販売

静岡大学

フジハイドロテック株式会社

水熱技術を用いて廃棄物のリサイクル・燃料化・資源化ビジネス

静岡大学



**合同会社
アートNGS研究所**

中赤外半導体レーザーの製造・販売、技術相談、電子回路設計・試作

静岡大学



SUICTE株式会社

半導体集積回路の要素技術の受託設計、受託開発、特許のサブセンシング

静岡大学

株式会社Lacubed

超小型レーザーを使用した小型・軽量・持運びが容易なレーザービーム技術を提供

自然科学研究機構



**株式会社
Applied FUSION
Technology**

核融合研究の技術を応用し細孔制御された活性炭を使ってウイルス不活性化装置を提供

自然科学研究機構



ハイティラ株式会社

次世代の高性能小型レーザーを開発し計測・エネルギー・量子技術等へ応用

自然科学研究機構



**株式会社
Helical Fusion**

ヘリカル型商用核融合炉および関連技術の開発

自然科学研究機構





超臨界技術センター 株式会社

超臨界流体を用いた有効成分の回収、不純物除去、材料リサイクルの受託試験、受託製造事業

名古屋大学



SyncMOF 株式会社

ガスの吸着・分離材の製造、性能評価、DAC 装置等のガス分離装置の製造・販売

名古屋大学



株式会社ミサリオ

ミクロンレベルの局所領域や微小部材の熱膨張制御を可能とする、「温めると縮む」負熱膨張微粒子の製造・販売

名古屋大学



株式会社クロスイー

180℃以下で有害ガスやタールの発生をほとんど伴わずに有機物を化学的に脱水し炭素化する、革新的な炭化技術を提供

名古屋大学



株式会社 ソラマテリアル

空気に浮くほどの軽さと機能性を有する「超軽量材料」の開発を通して、宇宙・空の新時代を切り拓く

名古屋大学

株式会社ヒートピース

環境廃棄物である殻殻を原料として、光の透過性、吸水性、放射能、断熱性に優れたセラミックスの製造、販売を行っています

名古屋大学

POLASTECH株式会社

50～70℃排熱を冷熱転換し、データセンター及び産業の電力消費を大幅削減する革新的吸着技術を提供

名古屋大学



株式会社 fff fortississimo

炭素繊維材料及び繊維強化複合材料の設計、開発、製造及び販売

名古屋大学

岐阜大学



シーズテクノ 株式会社

グラフェンを活用した成膜技術

名古屋工業大学



シーエムシー 技術開発株式会社

カーボンマイクロコイル (CMC) 技術の移転事業及び CMC の製造・販売事業

岐阜大学



株式会社 マンナン工房ひだ

冷凍用こんにゃくの製造販売、飛騨産野菜等を活用した刺身こんにゃくの製造販売

岐阜大学



株式会社 先進技術研究所

CFRP 等複合材料の研究開発の実施・支援

岐阜大学



FiberCraze 株式会社

防虫・保湿・抗ウイルス等の機能を持つ機能性繊維及び多孔質フィルムの研究開発

岐阜大学



株式会社 上野技術研究所

材料の難燃化及び不燃化に関する研究開発および研究開発支援

岐阜大学



有限会社 細胞外基質研究所

エラスチン等の研究用試薬の販売

三重大学



オーガノサプリ 株式会社

食物から抽出した物質によるサプリメントの開発、販売

三重大学

株式会社セルマップ

セルロース系材料及樹脂との複合化技術のコンサルティング及び受託開発

静岡大学



株式会社 Bubble&Flow

ファインケミカル合成プロセスの開発

静岡大学



株式会社フェルテ

有機機能性材料の構造制御技術・成膜技術のコンサルティング

静岡大学

株式会社molma

分子性材料に関するコンサルティング

静岡大学



一般社団法人 GEOASIA研究会

地盤工学に関する調査・設計及び技術開発・研究開発支援

名古屋大学



株式会社シムス

グローバルヘルス開発事業、ベンチャー投資事業、学生ベンチャー起業支援プロジェクト

名古屋大学



高齢社会街づくり 研究所株式会社

超高齢社会に対応する街づくりの実現に向けた企画コンサルタント事業

名古屋大学



Lawin株式会社

食品の企画及びコンサルティング

名古屋大学



一般社団法人 里モビニティ

里モビのリース、コミュニティ活動の運営企画

名古屋大学



一般社団法人 ライフアンド モビリティ

移動問題を解決するサービスの提供とコンサルティング

名古屋大学



株式会社OnePile

長期インターン求人サイト「JobPacker」の運営

名古屋大学



株式会社 Harmony For

外国人留学生に特化した就職サポート・企業の採用支援事業、外国人留学生向けライフサービス事業

名古屋大学

岐阜大学

合同会社ROKA

商業デザイン

名古屋工業大学

株式会社コトワザ

建築アイテムのデザイン及びプロデュース

名古屋工業大学



株式会社GUTS

幼児教室、個別支援塾の運営を通じた発達障害の子供や家族の支援

岐阜大学



株式会社ドングルズ

アントレプレナーシップ教育事業、教育イベント企画運営

岐阜大学



株式会社カケミチプロジェクト

児童精神科専門の訪問看護ステーション「ナンナル」の運営

岐阜大学



株式会社artkake

若手アーティストが制作した作品の画像データ化およびグッズ販売

岐阜大学

合同会社ワンリアライズ

起業家の成長阻害要因を解決に導く支援事業

岐阜大学



株式会社Liempia

専門高校生の学習習慣をサポートするアプリの提供

岐阜大学



Umai Japan 株式会社

Umai ブランド農作物の提供およびサプライチェーンの再構築

岐阜大学



合同会社たべものや

Web制作、Webマーケティング

岐阜大学



エクサージュールテクノロジー株式会社

水素・アンモニア関連機材取り扱い、脱炭素化設備開発・販売

岐阜大学



GIVELOVE 株式会社

介護施設向け大学生レクリエーションサービス

岐阜大学



株式会社LabQuick

大学・研究機関向けのクラウド型試薬発注サポートツール

岐阜大学

ALULA株式会社

品質保証業務を自動化するAI関連事業

岐阜大学

合同会社丸一野研

野生動物の生体モニタリング事業

岐阜大学



株式会社アーリー・バード・エージェント

人材紹介サービス

三重大学



ピーアンドディーパートナーズ株式会社

日本製品の中国輸入許認可サポート

三重大学



X TOWN株式会社

転職支援、イベント事業

三重大学



合同会社建築構造技術研究所

建築構造に関わる技術の開発・コンサルタント

名古屋市立大学



株式会社名古屋臨床薬理研究所

医工連携、産学連携のコーディネート事業

名古屋市立大学



クレイジーゼロ株式会社

企業向けSNS・動画制作 活用サービス

名古屋市立大学



株式会社カチノデ

スタートアップ支援サービス（プログラムの企画/コミュニティの運営/デザイン制作）

愛知県立芸術大学



有限会社静岡アカデミックリサーチ

小中学校学習指導業務

静岡大学



株式会社スプレーアート EXIN

オーダーメイドのアートデザイン業務

静岡大学



株式会社静岡アグリビジネス研究所

農産物（静大トマトやメロン等）の生産と売り・技術等の共同開発と研究

静岡大学



Exclothes 株式会社

除菌・消臭剤の販売

静岡大学



一般社団法人プロフェッショナルをすべての学校に

ICTを活用した遠隔授業で地方の小中学校と都心の企業を繋ぐキャリア教育事業

静岡大学



N&Vブリッジ株式会社

日本企業のベトナム進出サポート、市場調査、マッチング等総合コンサルティング

静岡大学



STARS Space Service 株式会社

宇宙ゴミの捕獲、宇宙機を利用したサービスの提供、コンサルティング

静岡大学

静岡アグリパートナーズ合同会社

農産物の生産・加工・売買、農業・農村に関する教育の受委託、地域活性化に関する相談支援業務

静岡大学

N-STEP

政治分野に対するSNS支援、ネット選挙の構築

静岡大学



Aoi Gin Craft Technology 株式会社

ジュニアベリー及びハーブ類の栽培と品種改良・農作物のコンサルテーション

静岡大学



株式会社Minashia

障がいやサポートを必要としているお子様が通う幼児教室

静岡大学



株式会社Gab

エンカルブランドに特化したWebマーケティング支援・商品販売プラットフォームの事業

静岡大学



一般社団法人BOSAI Edulab

防災とその教育に関する事業、被害の軽減への寄与及び効果的な防災教育の普及

静岡大学

株式会社インテックリサーチ

光技術・電子工学技術に関するコンサルティング業務

静岡大学



株式会社ツールラボ

メール配信ツールなどシステム開発

静岡大学



株式会社共愉の学び

教育・学習・学びに関するハード・ソフト及びコンテンツの企画・開発

静岡大学



株式会社
ワークシフト研究所

育休プチ MBA 等の研修事業、働き方改革コンサルティング、人材紹介サービス等

静岡県立大学



特定非営利活動法人
ホスピタル・プレイ協会

病児に遊び（ホスピタル・プレイ）を届ける事業及び普及のための教育研究事業

静岡県立大学



株式会社なまけもの

健康教室の企画・運営、介護施設へのイベント提供

静岡県立大学



どんぐりピット
株式会社

フードロス削減と地域活性化を目的に、食材をシェアする「シェア冷蔵庫」事業を展開

名古屋商科大学

BACK ISSUES

とっきんとっきんバックナンバー



<https://tongali.net/tokkin-tokkin/>

多岐にわたる分野で社会変革・新しい価値の創造をすすめる東海地区の大学発スタートアップとその支援・教育についてフィーチャーする「とっきんとっきん」。そのバックナンバーを紹介する。バックナンバーは左記ウェブサイトより参照できる。

VOL.1 / 2020 FUTURE DESIGN

東海地区の大学発スタートアップが、そのイノベーションによって作り出すこれからの社会変革と新しい未来の姿を特集する。



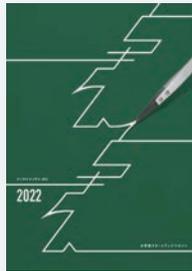
VOL.2 / 2021 STARTUP ECOSYSTEM

東海地区で作られつつあるスタートアップを育てるエコシステム(生態系)を、大学発スタートアップを中心に図解し紹介する。



VOL.3 / 2022 STARTUP SUPPORT PROGRAM

愛知-名古屋スタートアップエコシステムコンソーシアムにおける、スタートアップ支援プログラムの代表的なものをピックアップし紹介する。



VOL.4 / 2023 FAB LAB

工作機器などを揃え、アイデア実現の場となる「Fab lab」をオープンしたTongali参画の3校と、そのLabについて紹介する。



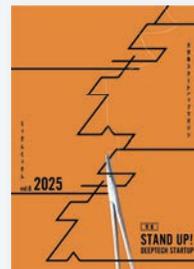
VOL.5 / 2024 EDGE-PRIME INITIATIVE 始動

アントレプレナーシップ教育の裾野の拡大に向けて「EDGE-PRIME Initiative」が始動。高校生等を対象に、各大学のノウハウを生かしたプログラムを紹介する。



VOL.6 / 2025 STAND UP! DEEPTECH STARTUP

アカデミア系ディープテック・スタートアップ創出のため、Tongaliで実施している研究者の起業支援プログラム「Gapファンド」を紹介する。



名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 ナショナル・イノベーション・コンプレックス (NIC)
TEL 052-747-6490 / E-mail tokkin@ajp.nagoya-u.ac.jp

Design : 株式会社R-pro

